

注3

大学番号：私024

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人国際医療福祉大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 事務部 教務課

職名・氏名 サトウ シュン
佐藤 旬

電話番号 0476-20-7703

（夜間） 0476-20-7703

F A X 0476-28-1159

e-mail narita_gakumu@iuhw.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

成田看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	27
4. 既設大学等の状況	29
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	77
7. その他全般的事項	85

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人国際医療福祉大学

(2) 大学名

国際医療福祉大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒286-8686

千葉県成田市公津の杜4丁目3番

(本部：〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600番1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タカギ クニノリ) 高木 邦格 (平成7年4月)		
学長	(キタジマ マサキ) 北島 政樹 (平成21年7月)	(オオトモ クニ) 大友 邦 (平成28年4月)	任期満了に伴う変更(28)
学部長	(ヤマシタ カエコ) 山下 香枝子 (平成28年4月)	(マツタニ ミワコ) 松谷 美和子 (平成30年4月)	自己都合による退職のための変更(30)
学科長等	(ヤマシタ カエコ) 山下 香枝子 (平成28年4月)	(マツタニ ミワコ) 松谷 美和子 (平成30年4月)	自己都合による退職のための変更(30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
成田看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4 年	100 人	— 年次 人	400 人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	100 () []	() []	100 () []	() []	100 () []	() []	100 () []	() []	() []	() []	1.09倍	—	
志願者数	715 () [12]	() []	940 () [9]	() []	698 () [9]	() []	1,027 () [7]	() []	() []	() []			
受験者数	705 () [11]	() []	928 () [9]	() []	683 () [8]	() []	1,006 () [7]	() []	() []	() []			
合格者数	182 () [5]	() []	189 () [4]	() []	199 () [3]	() []	213 () [6]	() []	() []	() []			
B 入学者数	108 () [4]	() []	107 () [4]	() []	109 () [3]	() []	112 () [5]	() []	() []	() []			
入学定員超過率 B/A	1.08		1.07		1.09		1.12						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	108 [4] (-)	- [-] (-)	107 [4] (-)	- [-] (-)	110 [3] (1)	- [-] (-)	112 [5] (-)	- [-] (-)	[]	[]	
2年次	/		107 [4] (-)	- [-] (-)	106 [4] (1)	- [-] (-)	110 [4] (3)	- [-] (-)	[]	[]	
3年次	/		/		105 [4] (-)	- [-] (-)	102 [2] (1)	- [-] (-)	[]	[]	
4年次	/		/		/		102 [4] (-)	- [-] (-)	[]	[]	
計	108 [4] (-)		214 [8] (-)		321 [11] (1)		426 [15] (4)		[]	[]	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	108人	1人	平成28年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)
平成29年度	214人	2人	平成28年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)
平成30年度	321人	7人	平成28年度	3人	0人	他の教育機関への入学・転学(1名)、就職(1名)、家庭の事情(1名)
			平成29年度	2人	1人	除籍(1名)、[除籍(1名)]
			平成30年度	2人	0人	他の教育機関への入学・転学(2名)
令和元年度	426人	0人	平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		10人		10人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{108} = \boxed{0.92} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{214} = \boxed{0.93} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{7}{321} = \boxed{2.18} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{426} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<成田看護学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	文学論	1234前		2							1	
	演劇論	1234前		1							1	
	パフォーマンス表現論	1234前	2								1	
	心理学	1234後		2							1	
	哲学	1234前		2		1						
	コミュニケーション概論	1234後		2							1	
	人間学	1234後		2							1	
	文化人類学	1234前		2							1	
	宗教学	1234後		2							1	
	歴史学	1234後		2							1	
	倫理学	1234後		2		1						
	教育学	1234後		2							1	
	死生学-死を通して生を考える-	1234前		2							1	
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1234前		2							1	
	日本近現代史	1234後		2							1	
	法学	1234後		2							1	
	法と道徳・倫理	1234後		2							1	
	医療関係法規	1234後	2								1	
	社会保障制度論	1234前		2							1	
	経済の仕組み	1234前		2							1	
	経済の歴史	1234後		2							1	
	世界の経済	1234前		2							1	
総合教育科目	アジア諸国の経済・社会・文化	1234後		2							1	
	世界の中の和文化	1234前		1		1						
	世界遺産と国際文化政策	1234前		2							1	
	経営の仕組み	1234前		2							1	
	組織運営管理論	1234前		2							1	
	社会学(人間と社会)	1234前		2							1	
	マスメディア論	1234後		2							1	
	新聞でみた日本と世界	1234前		2							1	
	国際関係論	1234前		2							1	
	国際医療福祉論	1234前		2							1	
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	1234前	1								1	
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	1234前	1			2					5	
	ボランティア論	1234後		2							1	
	ボランティアコーディネート論	1234後		2							1	
	手話入門	1234前		2							1	
	防災と生活デザイン	1234前		2							1	
	統計学	1234後		2							1	
疫学・保健医療統計学	1234後		2							1		
物理学	1234前		2							1		
化学	1234前		2							1		
生物学	1234前		2							1		
情報処理Ⅰ(初歩)	1234前		1							1		
情報処理Ⅱ(基礎)	1234前		1							1		
情報処理Ⅲ(応用)	1234後		1							1		
生命倫理	1234前		2							1		
医学/医療史	1234後		2							1		
人間工学	1234後		2							1		
大学入門講座Ⅰ(基礎)	1234前	1前	1		1					1		
大学入門講座Ⅱ(展開)	1234前		1		1					1		
郷土論	1234前		1							1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	文学論	1234前		2								1	
	演劇論	1234前		1								1	
	パフォーマンス表現論	1234前	1前	2								1	
	心理学	1234後		2							1		
	哲学	1234後		2		1							
	コミュニケーション概論	1234後		2							1		
	人間学	1234前		2							1		
	文化人類学	1234前		2							1		
	宗教学	1234後		2							1		
	歴史学	1234後		2							1		
	倫理学	1234後		2		1							
	教育学	1234後		2							1		
	死生学-死を通して生を考える-	1234前		2							1		
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1234前		2								7	
	日本近現代史	1234後		2							1		
	法学	1234後		2							1		
	法と道徳・倫理	1234後		2							1		
	医療関係法規	1234後	1後	2							1		
	社会保障制度論	1234後		2							1		
	経済の仕組み	1234前		2							1		
	経済の歴史	1234後		2							1		
	世界の経済	1234後		2							1		
総合教育科目	アジア諸国の経済・社会・文化	1234後		2							1		
	世界の中の和文化	1234前		1			1						
	世界遺産と国際文化政策	1234前		1								1	
	経営の仕組み	1234前		2			1				1		
	組織運営管理論	1234前		2							1		
	社会学(人間と社会)	1234前		2							1		
	マスメディア論	1234後		2							1		
	新聞でみた日本と世界	1234前		2							1		
	国際関係論	1234後		2							1		
	国際医療福祉論	1234前		2				1				17	
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	1234前	1				2	2	5		2	24	
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	1234後	1			2		1			1	9	
	ボランティア論	1234前		2							1		
	ボランティアコーディネート論	1234後		2							1		
	手話入門	1234後		2							1		
	防災と生活デザイン	1234前		2							1		
	統計学	1234後		2							1		
疫学・保健医療統計学	1234後		2							1			
物理学	1234前		2							1			
化学	1234前		2							1			
生物学	1234前		2							1			
情報処理Ⅰ(初歩)	1234前		1							1			
情報処理Ⅱ(基礎)	1234前		1							1			
情報処理Ⅲ(応用)	1234後		1							1			
生命倫理	1234前		2			1							
医学/医療史	1234前		2							1			
人間工学	1234後		2							1			
大学入門講座Ⅰ(基礎)	1234前	1前	1		1		1				6		
大学入門講座Ⅱ(展開)	1234前		1		1						6		
郷土論	1234前		1							1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目(つづき)	医療福祉教養講義	1234後		1								1
	食と人間	1234後		1								1
	メディカルマナー入門	1234後		2								1
	英語A-1(講読基礎)	1前	1									1
	英語A-2(講読応用)	1後	1									1
	英語A-3(講読中級1)	234前		1								1
	英語A-4(講読中級2)	234後		1								1
	英語B-1(視聴覚英語基礎)	1前	1									1
	英語B-2(視聴覚英語応用)	1後	1									1
	英語C-1(英会話初級)	234前		1								1
	英語C-2(英会話中級)	234後		1								1
	英語ライティング1(Primary)	1234前		1								1
	英語ライティング2(Basic)	1234後		1								1
	資格英語1(Primary)	1234前		1								1
	資格英語2(Basic)	1234後		1								1
	基礎英文法1(Primary)	1234前		1								1
	基礎英文法2(Basic)	1234後		1								1
	上級英語文献講読	1234前		1								1
	上級英語会話1(発展)	1234前		1								1
	上級英語会話2(総合)	1234後		1								1
	国際医療通訳入門	1234前		1								1
	ドイツ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ドイツ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	中国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	中国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	韓国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	韓国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	フランス語入門(会話含む)	1234前		1								1
	フランス語応用(会話含む)	1234後		1								1
	スペイン語入門(会話含む)	1234前		1			1					1
	スペイン語応用(会話含む)	1234後		1			1					1
	タイ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	タイ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ベトナム語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ベトナム語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ビルマ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ビルマ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1234前		1								1
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1234前		1								1
	日本語Ⅱ-A(作文)	1234後		1								1
日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅱ-C(発表討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-A(作文)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
医療福祉専門漢字	1234後		1								1	
医療福祉専門語彙	1234後		1								1	
健康科学理論	1234前		1								1	
健康科学実践	1234後		1								1	
小計(103科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目(つづき)	医療福祉教養講義	1234後		1								1
	食と人間	1234後		1								1
	メディカルマナー入門	1234前		2								2
	英語A-1(講読基礎)	1前	1									2
	英語A-2(講読応用)	1後	1									2
	英語A-3(講読中級1)	234前		1								1
	英語A-4(講読中級2)	234後		1								1
	英語B-1(視聴覚英語基礎)	1前	1									3
	英語B-2(視聴覚英語応用)	1後	1									3
	英語C-1(英会話初級)	234前		1								1
	英語C-2(英会話中級)	234後		1								1
	英語ライティング1(Primary)	1234前		1								1
	英語ライティング2(Basic)	1234後		1								1
	資格英語1(Primary)	1234前		1								1
	資格英語2(Basic)	1234後		1								1
	基礎英文法1(Primary)	1234前		1								1
	基礎英文法2(Basic)	1234後		1								1
	上級英語文献講読	1234後		1								1
	上級英語会話1(発展)	1234前		1								1
	上級英語会話2(総合)	1234後		1								1
	国際医療通訳入門	1234前		1								1
	ドイツ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ドイツ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	中国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	中国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	韓国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	韓国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	フランス語入門(会話含む)	1234前		1								1
	フランス語応用(会話含む)	1234後		1								1
	スペイン語入門(会話含む)	1234前		1								1
	スペイン語応用(会話含む)	1234後		1								1
	タイ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	タイ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ベトナム語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ベトナム語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ビルマ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ビルマ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1234前		1								1
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1234前		1								1
	日本語Ⅱ-A(作文)	1234後		1								1
日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅱ-C(発表討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-A(作文)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
医療福祉専門漢字	1234後		1								1	
医療福祉専門語彙	1234後		1								1	
健康科学理論	1234前		1								1	
健康科学実践	1234前		1								3	
小計(103科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	公衆衛生学	2前									1	
	救急医学	1234前	1								1	
	感染と免疫	1234後	2								1	
	リハビリテーション概論	1234前	2								1	
	関連職種連携論	2後	2			1						4
	ケアマネジメント論	234前	1								1	
	ケースワーク論	234前	1								1	
	医療管理学	234前	2								1	
	保健医療福祉制度論	1234後	2								1	
	社会福祉学	1234前	2								1	
	臨床心理学概論	1234前	2								1	
	医療情報学概論	1234後	2								1	
	福祉支援工学概論	1234前	2								1	
	関連職種連携ワーク	3前	1			1						4
	関連職種連携実習	4前	1			1						4
	リスクマネジメント論	1234後	2								1	
	電子カルテによるチーム医療概論	1234後	2								1	
	エビデンスベースドプラクティス(研究と実務)	1234前	1			1						
	レクリエーション概論	1234前	1								1	
	国際医療保健学	1234後	1			1						
	異文化体験実習	1234後	1				1					
	読む技術・伝える技術	1前	1								1	
	プレゼンテーション技法	1後	1								1	
	問題解決とアイデアイノベーション	1234後	1								1	
	行動科学とモチベーション	1234前	1								1	
	キャリアデザインⅠ(基礎)	1234前	1								1	
	キャリアデザインⅡ(発展)	34前	1								1	
	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	1前	2								1	
	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)	1後	1								1	
	疾病・治療Ⅰ(急性期・総論・運動・感覚器)	2後	1								1	
	疾病・治療Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅲ(慢性期・総論・全身疾患)	2後	1								1	
	疾病・治療Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅴ(小児・性と生殖医療)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅵ(精神医療)	2後	1								1	
	人間と栄養	2前	1								1	
	薬の作用と機序	3前	1								1	
	遺伝と医療	1234前	1								1	
	先端医療とヘルスケアテクノロジー	34後	1				1					
	人間発達学	1234前	2			1						
	健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎)	1後	1								1	
	健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント)	234前	1								1	
	健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロセス)	234後	1								1	
小計(43科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	公衆衛生学	1後	2									1
	救急医学	1234後	1									1
	感染と免疫	1後	2									4
	リハビリテーション概論	1234前	2									1
	関連職種連携論	2後	2				4					11
	ケアマネジメント論	234後	1									1
	ケースワーク論	234後	1									1
	医療管理学	1234後	2									1
	保健医療福祉制度論	1前	2									1
	社会福祉学	1234前	2									2
	臨床心理学概論	1234前	2									1
	医療情報学概論	234後	2									1
	福祉支援工学概論	1234後	2									1
	関連職種連携ワーク	3前	1					2	2	2		29
	関連職種連携実習	4前	1									1
	リスクマネジメント論	234前	2									1
	電子カルテによるチーム医療概論	234後	2									1
	エビデンスベースドプラクティス(研究と実務)	234前	1				1		2			
	レクリエーション概論	1234前	1									2
	国際医療保健学	1前	1					1			1	
	異文化体験実習	1234後	1					1			1	
	読む技術・伝える技術	1後	1									1
	プレゼンテーション技法	1後	1				1	2	3	2		
	問題解決とアイデアイノベーション	234前	1					1	1	1		
	行動科学とモチベーション	1234前	1									1
	キャリアデザインⅠ(基礎)	1後	1								1	
	キャリアデザインⅡ(発展)	34後	1							1		
	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	1前	2									3
	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)	1後	1									9
	疾病・治療Ⅰ(急性期・総論・運動・感覚器)	2後	1					1				
	疾病・治療Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	3前	1					1				
	疾病・治療Ⅲ(慢性期・総論・全身疾患)	2前	1					1				
	疾病・治療Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1					1				1
	疾病・治療Ⅴ(小児・性と生殖医療)	3前	1									1
	疾病・治療Ⅵ(精神医療)	2後	1					1		1		
	人間と栄養	1後	1									1
	薬の作用と機序	3前	1									1
	遺伝と医療	1234前	1									1
	先端医療とヘルスケアテクノロジー	34前	1							2		
	人間発達学	1前	2					2	1	1		
	健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎)	1後	1					1	3		1	
	健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント)	234前	1					1	1			
	健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロセス)	234後	1					1	1			
小計(43科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目(つづき)	地域ケアと家庭医療	2前	1									
	ソーシャルインクルージョン ^{234後}			1								
	プロジェクトI a	2前		1		7	6	6	5			
	プロジェクトI b	2後		1		7	6	6	5			
	プロジェクトII a	3前		1		7	6	6	5			
	プロジェクトII b	3後		1		7	6	6	5			
	プロジェクトIII	4前		1		7	6	6	5			
	看護統合実践	4前	2			6	6	5	5			
	海外看護研修	4前		2		2	4	1	3			
	小計(69科目)											
合計(215科目)												
卒業要件及び履修方法												
必修科目108単位、総合教育科目の選択科目から7単位以上、専門教育科目の選択科目から9単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限50単位未満(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目(つづき)	地域ケアと家庭医療	2前	1			1	1					1
	ソーシャルインクルージョン ^{234後}			1		1		1	1			
	プロジェクトI a	2前		1		8	5	10	7	1		
	プロジェクトI b	2後		1		8	5	10	7	1		
	プロジェクトII a	3前		1		8	5	10	7	1		
	プロジェクトII b	3後		1		8	5	10	7	1		
	プロジェクトIII	4前		1		8	5	10	7	1		
	看護統合実践	4前	2			8	4	7	5			
	海外看護研修	4前		2			1					
	小計(69科目)											
合計(215科目)												
卒業要件及び履修方法												
必修科目108単位、総合教育科目の選択科目から7単位以上、専門教育科目の選択科目から9単位以上を修得し、124単位以上修得すること。(履修科目の登録の上限50単位未満(年間))												

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	文学論	1234前		2							1
	演劇論	1234前		1							1
	パフォーマンス表現論	1前	2								1
	心理学	1234後		2							1
	哲学	1234前		2		1					
	コミュニケーション概論	1234後		2							1
	人間学	1234後		2							1
	文化人類学	1234前		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	歴史学	1234後		2							1
	倫理学	1234後		2		1					
	教育学	1234後		2							1
	死生学-死を通して生を考える-	1234前		2							1
	雑談と雑語-話す力と聴く力-(未開講)	1234前		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	法学	1234後		2							1
	法と道徳・倫理	1234後		2							1
	医療関係法規	1後	2								1
	社会保障制度論	1234後		2							1
	経済の仕組み	1234前		2							1
	経済の歴史	1234後		2							1
	世界の経済	1234後		2							1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1234後		2							1
	世界の中の和文化	1234前		1		1					6
	世界遺産と国際文化政策	1234前		2							1
	経営の仕組み	1234前		2							1
	組織運営管理論	1234前		2							1
	社会学(人間と社会)	1234前		2							1
	マスメディア論	1234後		2							1
	新聞でみた日本と世界	1234前		2							1
	国際関係論	1234後		2							1
	国際医療福祉論	1234前		2							1
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)(未開講)	1234前	1								1
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)(未開講)	1234前	1			2					5
	ボランティア論	1234後		2							1
	ボランティアコーディネート論(未開講)	1234後		2							1
	手話入門(未開講)	1234前		2							1
	防災と生活デザイン	1234前		2							1
	統計学	1234後		2							1
	疫学・保健医療統計学	1234後		2							1
	物理学	1234前		2							1
	化学	1234前		2							1
	生物学	1234前		2							1
	情報処理Ⅰ(初歩)	1234前		1							1
	情報処理Ⅱ(基礎)	1234前		1							1
情報処理Ⅲ(応用)	1234後		1							1	
生命倫理	1234前		2		1						
医学/医療史	1234前		2							1	
人間工学	1234後		2							1	
大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1					6	
大学入門講座Ⅱ(展開)	1234前		1		1					6	
郷土論	1234前		1							7	
医療福祉教養講義	1234後		1							1	
食と人間	1234前		1							1	
メディカルマナー入門	1234前		2							2	
英語A-1(講読基礎)	1前	1								2	
英語A-2(講読応用)	1後	1								3	
英語A-3(講読中級1)	234前		1							1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合教育科目	文学論	1234前		2							1
	演劇論	1234前		1							1
	パフォーマンス表現論	1前	2								1
	心理学	1234後		2							1
	哲学	1234後		2		1					
	コミュニケーション概論	1234後		2							1
	人間学	1234前		2							1
	文化人類学	1234前		2							1
	宗教学	1234後		2							1
	歴史学	1234後		2							1
	倫理学	1234後		2		1					
	教育学	1234後		2							1
	死生学-死を通して生を考える-	1234前		2							1
	雑談と雑語-話す力と聴く力-(未開講)	1234前		2							1
	日本近現代史	1234後		2							1
	法学	1234後		2							1
	法と道徳・倫理	1234後		2							1
	医療関係法規	1後	2								1
	社会保障制度論	1234後		2							1
	経済の仕組み	1234前		2							1
	経済の歴史	1234後		2							1
	世界の経済	1234後		2							1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1234後		2							1
	世界の中の和文化	1234前		1		1					6
	世界遺産と国際文化政策	1234前		2							1
	経営の仕組み	1234前		2							1
	組織運営管理論	1234前		2							1
	社会学(人間と社会)	1234前		2							1
	マスメディア論	1234後		2							1
	新聞でみた日本と世界	1234前		2							1
	国際関係論	1234後		2							1
	国際医療福祉論	1234前		2							1
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	1234前	1								1
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	1234前	1			2					5
	ボランティア論	1234後		2							1
	ボランティアコーディネート論	1234後		2							1
	手話入門	1234後		2							1
	防災と生活デザイン	1234前		2							1
	統計学	1234後		2							1
	疫学・保健医療統計学	1234後		2							1
	物理学	1234前		2							1
	化学	1234前		2							1
	生物学	1234前		2							1
	情報処理Ⅰ(初歩)	1234前		1							1
	情報処理Ⅱ(基礎)	1234前		1							1
情報処理Ⅲ(応用)	1234後		1							1	
生命倫理	1234前		2				1				
医学/医療史	1234前		2							1	
人間工学	1234後		2							1	
大学入門講座Ⅰ(基礎)	1前	1			1			3		6	
大学入門講座Ⅱ(展開)	1234前		1		1			1		6	
郷土論	1234前		1							7	
医療福祉教養講義	1234後		1							1	
食と人間	1234前		1							1	
メディカルマナー入門	1234前		2							2	
英語A-1(講読基礎)	1前	1								2	
英語A-2(講読応用)	1後	1								3	
英語A-3(講読中級1)	234前		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目(つづき)	英語A-4(講読中級2)	234後		1								1
	英語B-1(視聴覚英語基礎)	1前	1									2
	英語B-2(視聴覚英語応用)	1後	1									2
	英語C-1(英会話初級)	234前		1								1
	英語C-2(英会話中級)	234後		1								1
	英語ライティング1(Primary)	1234前		1								1
	英語ライティング2(Basic)	1234後		1								1
	資格英語1(Primary)	1234前		1								1
	資格英語2(Basic)	1234後		1								1
	基礎英文法1(Primary)	1234前		1								1
	基礎英文法2(Basic)	1234後		1								1
	上級英語文献講読	1234前		1								1
	上級英語会話1(発展)	1234前		1								1
	上級英語会話2(総合)	1234後		1								1
	国際医療通訳入門(未開講)	1234前		1								1
	ドイツ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ドイツ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	中国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	中国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	韓国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	韓国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	フランス語入門(会話含む)	1234前		1								1
	フランス語応用(会話含む)	1234後		1								1
	スペイン語入門(会話含む)	1234前		1								1
	スペイン語応用(会話含む)	1234後		1								1
	タイ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	タイ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ベトナム語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ベトナム語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ビルマ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ビルマ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1234前		1								1
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1234前		1								1
日本語Ⅱ-A(作文)	1234後		1								1	
日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅱ-C(発表討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-A(作文)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
医療福祉専門漢字	1234後		1								1	
医療福祉専門語彙	1234後		1								1	
健康科学理論	1234前		1								1	
健康科学実践	1234後		1								1	
小計(103科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目(つづき)	英語A-4(講読中級2)	234後		1								1
	英語B-1(視聴覚英語基礎)	1前	1									2
	英語B-2(視聴覚英語応用)	1後	1									2
	英語C-1(英会話初級)	234前		1								1
	英語C-2(英会話中級)	234後		1								1
	英語ライティング1(Primary)	1234前		1								1
	英語ライティング2(Basic)	1234後		1								1
	資格英語1(Primary)	1234前		1								1
	資格英語2(Basic)	1234後		1								1
	基礎英文法1(Primary)	1234前		1								1
	基礎英文法2(Basic)	1234後		1								1
	上級英語文献講読	1234前		1								1
	上級英語会話1(発展)	1234前		1								1
	上級英語会話2(総合)	1234後		1								1
	国際医療通訳入門	1234後		1								1
	ドイツ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ドイツ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	中国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	中国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	韓国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	韓国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	フランス語入門(会話含む)	1234前		1								1
	フランス語応用(会話含む)	1234後		1								1
	スペイン語入門(会話含む)	1234前		1								1
	スペイン語応用(会話含む)	1234後		1								1
	タイ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	タイ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ベトナム語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ベトナム語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ビルマ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ビルマ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	日本語Ⅰ-A(作文)	1234前		1								1
	日本語Ⅰ-B(文法・語彙)	1234前		1								1
日本語Ⅱ-A(作文)	1234後		1								1	
日本語Ⅱ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅱ-C(発表討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅱ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-A(作文)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-B(文法・語彙)	1234後		1								1	
日本語Ⅲ-C(発表・討論)	1234前		1								1	
日本語Ⅲ-D(専門日本語)	1234前		1								1	
医療福祉専門漢字	1234後		1								1	
医療福祉専門語彙	1234後		1								1	
健康科学理論	1234前		1								1	
健康科学実践	1234後		1								3	
小計(103科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	公衆衛生学	1前	2								1	
	救急医学(未開講)	1234前		1							1	
	感染と免疫	1後	2								1	
	リハビリテーション概論	1234前		2							1	
	関連職種連携論	2後	2			1						4
	ケアマネジメント論	234前		1							1	
	ケースワーク論	234前		1							1	
	医療管理学(未開講)	234前		2							1	
	保健医療福祉制度論	1前	2								1	
	社会福祉学	1234前		2							1	
	臨床心理学概論	1234前		2							1	
	医療情報学概論	234後		2							1	
	福祉支援工学概論	1234後		2							1	
	関連職種連携ワーク	3前	1			1						4
	関連職種連携実習	4前		1		1						4
	リスクマネジメント論	234後		2							1	
	電子カルテによるチーム医療概論	234後		2							1	
	エビデンスベースドプラクティス(研究と実務)	234前		1		1						
	レクリエーション概論	1234前		1							1	
	国際医療保健学	1前	1			1						
	異文化体験実習	1234後		1			1					
	読む技術・伝える技術	1前	1								1	
	プレゼンテーション技法	1後	1								1	
	問題解決とアイデアイノベーション	234後		1							1	
	行動科学とモチベーション	1234前		1							1	
	キャリアデザインⅠ(基礎)	1前	1								1	
	キャリアデザインⅡ(発展)	34前		1							1	
	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	1前	2								2	
	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)	1後	1								10	
	疾病・治療Ⅰ(急性期・総論・運動・感覚器)	2後	1								1	
	疾病・治療Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅲ(慢性期・総論・全身疾患)	2後	1								1	
	疾病・治療Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅴ(小児・性と生殖医療)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅵ(精神医療)	2後	1								1	
	人間と栄養	1後	1								1	
	薬の作用と機序	3前	1								1	
	遺伝と医療	1234前		1							1	
	先端医療とヘルスケアテクノロジー	34後		1			1					
	人間発達学	1前	2			2	2	3				
	健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎)	1後	1								1	
	健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント)	234前		1							1	
	健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロセス)	234後		1							1	
小計(43科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	公衆衛生学	1前	2							1		
	救急医学	1234後		1								1
	感染と免疫	1後	2								4	
	リハビリテーション概論	1234前		2							2	
	関連職種連携論	2後	2			1						4
	ケアマネジメント論	234後		1							1	
	ケースワーク論	234後		1							1	
	医療管理学	234前		2							1	
	保健医療福祉制度論	1前	2								1	
	社会福祉学	1234前		2							1	
	臨床心理学概論	1234前		2							1	
	医療情報学概論	234後		2							1	
	福祉支援工学概論	1234後		2							1	
	関連職種連携ワーク	3前	1			1						4
	関連職種連携実習	4前		1		1						4
	リスクマネジメント論	234前		2							1	
	電子カルテによるチーム医療概論	234後		2							1	
	エビデンスベースドプラクティス(研究と実務)	234前		1			2	1				
	レクリエーション概論	1234前		1								2
	国際医療保健学	1前	1			1	1			1		
	異文化体験実習	1234後		1		1	1	1	4			
	読む技術・伝える技術	1前	1								1	
	プレゼンテーション技法	1後	1				2	2				
	問題解決とアイデアイノベーション	234前		1			2	1				
	行動科学とモチベーション	1234前		1							1	
	キャリアデザインⅠ(基礎)	1前	1								1	
	キャリアデザインⅡ(発展)	34前		1							1	
	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	1前	2								2	
	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)	1後	1								10	
	疾病・治療Ⅰ(急性期・総論・運動・感覚器)	2後	1								1	
	疾病・治療Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅲ(慢性期・総論・全身疾患)	2後	1								8	
	疾病・治療Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅴ(小児・性と生殖医療)	3前	1								1	
	疾病・治療Ⅵ(精神医療)	2後	1								1	
	人間と栄養	1後	1								1	
	薬の作用と機序	3前	1								1	
	遺伝と医療	1234前		1							1	
	先端医療とヘルスケアテクノロジー	34後		1			1					
	人間発達学	1前	2			2	2	3				
	健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎)	1後	1				2	2			1	
	健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント)	234前		1			1	1				
	健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロセス)	234後		1								1
小計(43科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 (つづき)	地域ケアと家庭医療	2前	1								1
	ソーシャルインクルージョン	234後		1							1
	プロジェクトI a	2前		1		7	6	6	5		
	プロジェクトI b	2後		1		7	6	6	5		
	プロジェクトII a	3前		1		7	6	6	5		
	プロジェクトII b	3後		1		7	6	6	5		
	プロジェクトIII	4前		1		7	6	6	5		
	看護統合実践	4前	2			6	6	5	5		
	海外看護研修	4前		2		2	4	1	3		
	小計(69科目)										
合計(215科目)											
卒業要件及び履修方法											
必修科目108単位、総合教育科目の選択科目から7単位以上、専門教育科目の選択科目から9単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限50単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 (つづき)	地域ケアと家庭医療	2前	1								
	ソーシャルインクルージョン	234後		1							
	プロジェクトI a	2前		1		7	6	6	5		
	プロジェクトI b	2後		1		7	6	6	5		
	プロジェクトII a	3前		1		7	6	6	5		
	プロジェクトII b	3後		1		7	6	6	5		
	プロジェクトIII	4前		1		7	6	6	5		
	看護統合実践	4前	2			6	6	5	5		
	海外看護研修	4前		2		2	4	1	3		
	小計(69科目)										
合計(215科目)											
卒業要件及び履修方法											
必修科目108単位、総合教育科目の選択科目から7単位以上、専門教育科目の選択科目から9単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限50単位未満(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目	文学論	1234前		2								1
	演劇論	1234前		1								1
	パフォーマンス表現論	1234前	1前	2								1
	心理学	1234後		2								1
	哲学	1234後		2		1						
	コミュニケーション概論	1234後		2								1
	人間学	1234前		2								1
	文化人類学	1234前		2								1
	宗教学	1234後		2								1
	歴史学	1234後		2								1
	倫理学	1234後		2		1						
	教育学	1234後		2								1
	死生学-死を過して生を考える-	1234前		2								1
	雑談と傾聴-話す力と聴く力-	1234前		2								7
	日本近現代史	1234後		2								1
	法学	1234後		2								1
	法と道徳・倫理	1234後		2								1
	医療関係法規	1234後	1後	2								1
	社会保障制度論	1234後		2								1
	経済の仕組み	1234前		2								1
	経済の歴史	1234後		2								1
	世界の経済	1234後		2								1
	アジア諸国の経済・社会・文化	1234後		2								1
	世界の中の和文化	1234前		1			1			1		6
	世界遺産と国際文化政策(未開講)	1234前		2								1
	経営の仕組み	1234前		2			1		1	1		1
	組織運営管理論	1234前		2								1
	社会学(人間と社会)	1234前		2								1
	マスメディア論	1234後		2								1
	新聞でみた日本と世界	1234前		2								1
	国際関係論	1234後		2								1
	国際医療福祉論	1234後		2				1				17
	海外保健福祉事情Ⅰ(講義)	1234前		1				2		1		12
	海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	1234前		1				1		1		10
	ボランティア論	1234前		2								1
	ボランティアコーディネート論	1234後		2								1
	手話入門	1234後		2								1
	防災と生活デザイン	1234前		2								1
	統計学	1234後		2								1
	疫学・保健医療統計学	1234後		2								1
	物理学	1234前		2								1
	化学	1234前		2								1
	生物学	1234前		2								1
	情報処理Ⅰ(初歩)	1234前		1								1
	情報処理Ⅱ(基礎)	1234前		1								1
	情報処理Ⅲ(応用)	1234後		1								1
	生命倫理	1234前		2			1					
	医学/医療史	1234前		2								1
	人間工学	1234後		2								1
	大学入門講座Ⅰ(基礎)	1234前	1前	1			2			1		4
大学入門講座Ⅱ(展開)	1234前		1			1					5	
郷土論	1234前		1								7	
医療福祉教養講義	1234後		1								1	
食と人間	1234後		1								1	
メディカルマナー入門	1234前		2								2	
英語A-1(講読基礎)	1234前	1前	1								2	
英語A-2(講読応用)	1234前	1後	1								2	
英語A-3(講読中級1)	1234前		1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合教育科目(つつき)	英語A-4(講読中級2)	234後		1								1
	英語B-1(視聴覚英語基礎)	1前	1									2
	英語B-2(視聴覚英語応用)	1後	1									2
	英語C-1(英会話初級)	234前		1								1
	英語C-2(英会話中級)	234後		1								1
	英語ライティング1(Primary)	1234前		1								1
	英語ライティング2(Basic)	1234後		1								1
	資格英語1(Primary)	1234前		1								1
	資格英語2(Basic)	1234後		1								1
	基礎英文法1(Primary)	1234前		1								1
	基礎英文法2(Basic)	1234後		1								1
	上級英語文献講読	1234前		1								1
	上級英語会話1(発展)	1234前		1								1
	上級英語会話2(総合)	1234後		1								1
	国際医療通訳入門	1234後		1								1
	ドイツ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ドイツ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	中国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	中国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	韓国語入門(会話含む)	1234前		1								1
	韓国語応用(会話含む)	1234後		1								1
	フランス語入門(会話含む)	1234前		1								1
	フランス語応用(会話含む)	1234後		1								1
	スペイン語入門(会話含む)	1234前		1								1
	スペイン語応用(会話含む)	1234後		1								1
	タイ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	タイ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ベトナム語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ベトナム語応用(会話含む)	1234後		1								1
	ビルマ語入門(会話含む)	1234前		1								1
	ビルマ語応用(会話含む)	1234後		1								1
	日本語 I -A(作文)	1234前		1								1
	日本語 I -B(文法・語彙)	1234前		1								1
	日本語 II -A(作文)	1234後		1								1
	日本語 II -B(文法・語彙)	1234後		1								1
	日本語 II -C(発表討論)	1234前		1								1
	日本語 II -D(専門日本語)	1234前		1								1
	日本語 III -A(作文)	1234後		1								1
	日本語 III -B(文法・語彙)	1234後		1								1
	日本語 III -C(発表・討論)	1234前		1								1
	日本語 III -D(専門日本語)	1234前		1								1
	医療福祉専門漢字	1234後		1								1
医療福祉専門語彙	1234後		1								1	
健康科学理論	1234前		1								1	
健康科学実践	1234後		1								2	
小計(103科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	公衆衛生学	1前	2			1						1
	救急医学	1234後		1								1
	感染と免疫	1後	2									3
	リハビリテーション概論	1234前		2								3
	関連職種連携論	2後	2			1						4
	ケアマネジメント論	234後		1								1
	ケースワーク論	234後		1								1
	医療管理学	234後		2								1
	保健医療福祉制度論	1前	2									1
	社会福祉学	1234前		2								1
	臨床心理学概論	1234前		2								1
	医療情報学概論	234後		2								1
	福祉支援工学概論	1234後		2								1
	関連職種連携ワーク	3前	1			4	3	2	3			22
	関連職種連携実習	4前		1		1						4
	リスクマネジメント論	234前		2								1
	電子カルテによるチーム医療概論	234後		2								1
	エビデンスベースドプラクティス(研究と実践)	234前		1		1	1		1			
	レクリエーション概論	1234前		1								2
	国際医療保健学	1前	1				1		1			
	異文化体験実習	1234後		1			1		1			4
	読む技術・伝える技術	1後	1									1
	プレゼンテーション技法	1後	1			1	2		1			
	問題解決とアイデアイノベーション	234前		1		1	1		1			
	行動科学とモチベーション	1234前		1								1
	キャリアデザインⅠ(基礎)	1後	1					1				
	キャリアデザインⅡ(発展)	34後		1				1				
	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	1前	2									3
	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)	1後	1									11
	疾病・治療Ⅰ(急性期・総論・運動・感覚器)	2後	1				1					11
	疾病・治療Ⅱ(急性期・臓器別疾患)	3前	1				1					5
	疾病・治療Ⅲ(慢性期・総論・全身疾患)	2後	1			1						7
	疾病・治療Ⅳ(終末期・緩和医療)	3前	1			1						1
	疾病・治療Ⅴ(小児・性と生殖医療)	3前	1									3
	疾病・治療Ⅵ(精神医療)	2後	1			1		1				
	人間と栄養	1後	1									1
	薬の作用と機序	3前	1				1					1
	遺伝と医療	1234前		1								1
	先端医療とヘルスケアテクノロジー	34前		1			2		1			
	人間発達学	1前	2				2	1	1			
	健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎)	1後	1				1	3		1		
	健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント)	234前		1			1	1				
	健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロセス)	234後		1			1	1				
小計(43科目)												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	看護学概論	1前	1			1		3	2			
	ベーシック・スキルⅠ(生活援助技術)	1後	2			1		2	2			
	ベーシック・スキルⅡ(医療支援技術)	2前	1			1		3	2			
	看護過程とフィジカルアセスメント	2前	2			1		3	2			
	ベーシックケア実践Ⅰ(入門)	1前	1			1		3	3			4
	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎)	2後	2			1		3	3			4
	看護の理論と歴史	1234後		1		1		2	2			
	看護と倫理	2前	1			1						
	健康教育とヘルスカウンセリング	234前		1		1	1					
	看護情報リテラシー	1前	1					2		1		
	ヘルスケア・インフォマティクス	234後		1			1					1
	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学)	2後	1				1					
	看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創造)	234後		1			1					
	保健事業戦略とマネジメント	4前		1				1				
	看護キャリア創造Ⅰ(多様なキャリアを知る)	1後	1			1	1					
	看護キャリア創造Ⅱ(キャリアの創造と挑戦)	34前		1		1	1					
	ライフステージ発達援助論Ⅰ(母性)	2前	2				1			1		
	ライフステージ発達援助実践Ⅰ(母性)	2後	2				2			1		
	性と生殖における健康と権利	2前	1				1					
	グローバルヘルスと母子保健	2後	1			1	2			1		
	ライフステージ発達援助論Ⅱ(小児)	2前	1				1					
	ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児)	2後	1			1	1			1		1
	小児看護学Ⅰ(講義)	3前	2				1					
	小児看護学Ⅱ(演習)	3前	1				1					
	小児ケア実践	3後	1				1	1		1		1
	ライフステージ発達援助実践Ⅲ(成人・老年)	2後	2				2		1	1		
	ライフステージ発達援助論Ⅲ(成人)	2前	1				2	2	1	1		
	急性期看護学Ⅰ(講義)	3前	2				2		2	1		
	急性期看護学Ⅱ(演習)	3前	1					2		1		
	急性期ケア実践	3後	3					2		2		1
	慢性期看護学Ⅰ(講義)	3前	2				1	1	1	1		
	慢性期看護学Ⅱ(演習)	3前	1				2		1	1		
	慢性期ケア実践	3後	3				1			2		
	終末期看護学Ⅰ(講義)	3前	1				1			1		
	終末期看護学Ⅱ(演習)	3前	1				1			1		
	終末期ケア実践	4後	2				1					
	ライフステージ発達援助論Ⅳ(老年)	2前	1						1			
	老年看護学Ⅰ(講義)	3前	2						1			
	老年看護学Ⅱ(演習)	3前	1						1			
	老年ケア実践	3後	3				1		1			
	ジェンテクノロジーの看護への応用	34後		1					1			
	精神看護学Ⅰ(講義)	3前	2				1		1			
	精神看護学Ⅱ(演習)	3前	1				1		1			
	リラクゼーションの理論と実際	2前	1				1		1			
	精神ケア実践	3後	2				1		1			
	国際看護学Ⅰ(異文化と看護)	2前	1					1		1		
	国際看護学Ⅱ(活動の実際)	234後		1				1		1		
	国際看護研修(途上国)	34前		2				1		1		
	感染看護論	2後	1					1		1		
	災害・健康危機管理論	4前	1					1				
国際検疫看護論	234後		1				1		1			
まちづくり看護論	2前	2				1	2					
公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健)	4前		2			1	1					
公衆衛生看護活動論Ⅱ(学校・産業保健)	2前		1			1	1					
公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健)	4前		4			1	1		1			
公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健)	4後		1			1	1					
在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義)	2前	2						1	1			
在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習)	2後	1						2	1			
在宅看護実践	3後	2						1	1		2	
住環境とユニバーサルデザイン	234後		1					1	1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目(つづき)	地域ケアと家庭医療	2前	1			1	1					1
	ソーシャルインクルージョン	234後		1		1	1			1		
	プロジェクトⅠa	2前		1		8	6	7	7			
	プロジェクトⅠb	2後		1		8	6	7	7			
	プロジェクトⅡa	3前		1		8	6	7	7			
	プロジェクトⅡb	3後		1		8	6	7	7			
	プロジェクトⅢ	4前		1		7	6	6	5			
	看護統合実践	4前	2			6	6	5	5			
	海外看護研修	4前		2		2	4	1	3			
	小計(69科目)											
合計(215科目)												
卒業要件及び履修方法												
必修科目108単位、総合教育科目の選択科目から7単位以上、専門教育科目の選択科目から9単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限50単位未満(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・教育効果を考慮し、「パフォーマンス表現論」の配当年次を「1234前」から「1前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「心理学」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「医療関連法規」の配当年次を「1234後」から「1後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「社会保障制度論」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「世界の経済」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「世界の中の和文化」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼6」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際関係論」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「生命倫理」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「医学/医療史」の開講期を「1234後」から「1234前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「郷土論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更、地域と連携したオムニバス科目へ。
- ・教育効果を考慮し、「食と人間」の開講期を「1234後」から「1234前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「メディカルマナー入門」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
- ・少人数教育の実践のため、「英語A-1(講読基礎)」「英語A-2(講読応用)」「英語B-1(視聴覚英語基礎)」「英語B-2(視聴覚英語応用)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ネイティブスピーカーの兼教員採用により、「スペイン語入門(会話含む)」「スペイン語応用(会話含む)」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「公衆衛生学」の配当年次を「2前」から「1前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「感染と免疫」の配当年次を「1234後」から「1後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「保健医療福祉制度論」の開講期を「1234後」から「1前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「医療情報学概論」の配当年次を「1234後」から「234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「福祉支援工学概論」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「リスクマネジメント論」の配当年次を「1234後」から「234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「電子カルテによるチーム医療概論」の配当年次を「1234後」から「234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)」の配当年次を「1234前」から「234前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療保健学」の開講期を「1234後」から「1前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「問題解決とアイデアイノベーション」の配当年次を「1234後」から「234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「キャリアデザインI(基礎)」の配当年次を「1234前」から「1前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「からだの探求I(からだの構造と機能)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「からだの探求II(生体のしくみと生体防御)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼10」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「人間と栄養」の配当年次を「2前」から「1後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「人間発達学」の配当年次を「1234前」から「1前」に変更、専任教員等の配置を「教授1」から「教授2、准教授2、講師3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「災害・健康危機管理論」の配当年次を「2前」から「4前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「公衆衛生看護活動論II(学校・産業保健)」の配当年次を「4前」から「2前」に変更。

【平成29年度】

- ・教育効果を考慮し、「哲学」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「人間学」の開講期を「1234後」から「1234前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「手話入門」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「教授3、兼6」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ（発展）」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「教授1、兼6」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語A-2（講読応用）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療通訳入門」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「健康科学実践」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「救急医学」の開講期を「1234前」から「1234後」に変更。
- ・担当教員の退職に伴い、「感染と免疫」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ケアマネジメント論」の開講期を「234前」から「234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ケースワーク論」の開講期を「234前」から「234後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「リスクマネジメント論」の開講期を「234後」から「234前」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「レクリエーション概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療保健学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「異文化体験実習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1、講師1、助教4」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「プレゼンテーション技法」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「問題解決とアイデアイノベーション」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅲ（慢性期・総論／全身疾患）」の開講期を「234後」から「234前」に、専任教員等の配置を「兼1」から「兼8」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「健康社会デザインⅠ（コミュニティ・デザインの基礎）」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授2、准教授2、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「健康社会デザインⅡ（コミュニティ・アセスメント）」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックスキルⅠ（生活援助技術）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックスキルⅡ（医療支援技術）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師2、助教4」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護過程とフィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師2、助教3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックケア実践Ⅱ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教4」から「教授3、准教授3、講師4、助教3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護の理論と歴史」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護教育とヘルスカウンセリング」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックケア実践Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教3」から「教授1、講師2、助教4」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護マネジメントⅠ（看護政策・管理学）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護マネジメントⅡ（ヘルスケア経営と事業創造）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護キャリア創造学Ⅰ（多様なキャリアを知る）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助論Ⅰ（母性）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「グローバルヘルスと母子保健」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2、准教授2、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助論Ⅱ（小児）」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助実践Ⅱ（小児）」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2」から「准教授1、講師3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージと発達援助実践Ⅲ（成人・老年）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、講師1、助教1」から「教授1、准教授4、講師1、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助論Ⅲ（成人）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授5、講師2、助教4」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「終末期ケア実践」の配当年次を「3後」から「4後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助論Ⅳ（老年）」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「リラクゼーションの理論と実際」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際看護学Ⅰ（異文化と看護）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際看護学Ⅱ（活動の実際）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「感染看護論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・人事異動に伴い、「まちづくり看護論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・人事異動に伴い、「公衆衛生看護活動論Ⅰ（行政保健）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・人事異動に伴い、「公衆衛生看護活動論Ⅱ（学校・産業保健）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・人事異動に伴い、「公衆衛生看護学実践Ⅰ（行政保健）」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・人事異動に伴い、「公衆衛生看護学実践Ⅱ（産業保健）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「在宅・生活デザイン看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「在宅・生活デザイン看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「在宅看護実践」の配当年次を「2後」から「3後」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「地域ケアと家庭医療」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ソーシャルインクルージョン」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。

【平成30年度】

- ・教育効果を考慮し、「雑談と傾聴～話す力と聴く力～」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼7」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「世界の中の和文」の専任教員等の配置を「准教授1、兼6」から「准教授1、助教1、兼6」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「経営の仕組み」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「国際医療福祉論」の開講期を「1234前」から「1234後」に、専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1、兼17」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授2、助教1、兼12」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」の専任教員等の配置を「教授2、兼5」から「准教授1、助教1、兼10」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「ボランティア論」の開講期を「1234後」から「1234前」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授3、兼6」から「教授2、助教1、兼4」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ（展開）」の専任教員等の配置を「教授1、兼6」から「教授1、兼5」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「英語A-2（講読応用）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼2」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、兼1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「感染と免疫」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼3」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「医療管理学」の開講期を「234前」から「234後」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「福祉支援工学概論」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「関連職種連携ワーク」の専任教員等の配置を「教授1、兼4」から「教授4、准教授3、講師2、助教3、兼22」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
 - ・教員の退職に伴い、「国際医療保健学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「異文化体験実習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1、助教4」から「准教授1、助教1、兼4」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「読む技術・伝える技術」の開講期を「1前」から「1後」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プレゼンテーション技法」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
 - ・教員の退職に伴い、「問題解決とアイデアイノベーション」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1、兼1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「キャリアデザインⅠ（基礎）」の開講期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「キャリアデザインⅡ（発展）」の開講期を「34前」から「34後」に、専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「からだの探求Ⅰ（からだの構造と機能）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「からだの探求Ⅱ（生体のしくみと生体防御）」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼11」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅰ（急性期・総論/運動・感覚器）」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1、兼11」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅱ（急性期・臓器別疾患）」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1、兼5」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅲ（慢性期・総論/全身疾患）」の専任教員等の配置を「兼8」から「教授1、兼7」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅳ（終末期・緩和医療）」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、兼1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅴ（小児・性と生殖医療）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼3」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅵ（精神医療）」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、講師1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「先端医療とヘルスケアテクノロジー」の開講期を「34後」から「34前」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2、助教1」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「人間発達学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師3」から「教授2、准教授1、講師1」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「健康社会デザインⅠ（コミュニティ・デザインの基礎）」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、助教1」から「教授1、准教授3、助教1」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「健康社会デザインⅢ（コミュニティ・プロデュース）」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1、准教授1」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教2」から「教授1、講師3、助教2」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ベーシック・スキルⅡ（医療支援技術）」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教4」から「教授1、准教授3、助教2」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「看護過程とフィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教3」から「教授1、講師3、助教2」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しおよび実習助手の採用により、「ベーシックケア実践Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「教授1、講師2、助教4」から「教授1、講師3、助教3、兼4」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しおよび実習助手の採用により、「ベーシックケア実践Ⅱ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授3、准教授3、講師4、助教3」から「教授1、講師3、助教3、兼4」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「看護情報リテラシー」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授2、助教1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「ヘルスケア・インフォマティクス」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。
 - ・教育効果を考慮し、「看護キャリア創造学Ⅱ（キャリアの創造と挑戦）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助論Ⅰ（母性）」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「准教授1、助教1」に変更。
 - ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助実践Ⅰ（母性）」の専任教員等の配置を「教授1、講師2」から「准教授2、助教1」に変更。
- （次頁につづく）

(前頁からつづく)

- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「性と生殖における健康と権利」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「グローバルヘルスと母子健康」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、助教1」から「教授1、准教授2、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助論Ⅱ（小児）」の専任教員等の配置を「講師2」から「教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しおよび実習助手の採用により、「ライフステージ発達援助実践Ⅱ（小児）」の専任教員等の配置を「准教授1、講師3」から「教授1、准教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「小児看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「小児看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「講師2」から「教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しおよび実習助手の採用により、「小児ケア実践」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2」から「教授1、准教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージと発達援助実践Ⅲ（成人・老年）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授4、講師1、助教2」から「教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助論Ⅲ（成人）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授5、講師2、助教4」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「急性期看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「急性期看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2」から「准教授2、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しおよび実習助手の採用により、「急性期ケア実践」の専任教員等の配置を「准教授1、講師2」から「准教授2、助教2、兼1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「慢性期看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「慢性期看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「慢性期ケア実践」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授1、助教2」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「終末期看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「終末期看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「老年看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「老年看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ジェンテクノロジーの看護への応用」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「精神看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「精神看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「精神ケア実践」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際看護学Ⅰ（異文化と看護）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際看護学Ⅱ（活動の実際）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際看護研修（途上国）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際検疫看護論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「まちづくり看護論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「在宅・生活デザイン看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「在宅・生活デザイン看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1」から「講師2、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しおよび実習助手の採用により、「在宅看護実践」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1、助教1、兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「住環境とユニバーサルデザイン」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「地域ケアと家庭医療」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1、兼1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ソーシャルインクルージョン」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅠa」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、講師6、助教5」から「教授8、准教授6、講師7、助教7」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅠb」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、講師6、助教5」から「教授8、准教授6、講師7、助教7」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅡa」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、講師6、助教5」から「教授8、准教授6、講師7、助教7」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅡb」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、講師6、助教5」から「教授8、准教授6、講師7、助教7」に変更。

【令和元年度】

- ・教育効果を考慮し、「世界の中の和文化」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1、兼6」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「経営の仕組み」の専任教員等の配置を「教授1、講師1、助教1、兼1」から「教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「国際医療福祉論」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「海外保健福祉事情Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1、兼12」から「教授2、准教授2、講師5、助教2、兼24」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「海外保健福祉事情Ⅱ（実習）」の開講期を「前期」から「後期」に、専任教員等の配置を「准教授1、助教1、兼10」から「准教授1、助教1、兼9」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅰ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授2、助教1、兼4」から「教授1、准教授1、兼6」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「大学入門講座Ⅱ（展開）」の専任教員等の配置を「教授1、兼5」から「教授1、兼6」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「郷土論」の専任教員等の配置を「兼7」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語B-1（視聴覚英語基礎）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「英語B-2（視聴覚英語応用）」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「上級英語文献講読」の開講期を「前期」から「後期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「日本語Ⅲ-B（文法・語彙）」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「健康科学実践」の開講期を「後期」から「前期」に、専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「公衆衛生学」の開講期を「前期」から「後期」に、専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「感染と免疫」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「リハビリテーション概論」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携論」の専任教員等の配置を「教授1、兼4」から「教授4、兼11」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「医療管理学」の配当年次を「234」から「1234」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「社会福祉学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携ワーク」の専任教員等の配置を「教授4、准教授3、講師2、助教3、兼22」から「准教授2、講師2、助教2、兼29」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「関連職種連携実習」の専任教員等の配置を「教授1、兼4」から「兼1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、講師2」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プレゼンテーション技法」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2、助教1」から「教授1、准教授2、講師3、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「問題解決とアイデアイノベーション」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「准教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「からだの探求Ⅱ（生体のしくみと生体防御）」の専任教員等の配置を「兼11」から「兼9」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「疾病・治療学Ⅰ（急性期・総論/運動・感覚器）」の専任教員等の配置を「准教授1、兼11」から「准教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「疾病・治療学Ⅱ（急性期・臓器別疾患）」の専任教員等の配置を「准教授1、兼5」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅲ（慢性期・総論/全身疾患）」の開講期を「後期」から「前期」に、専任教員等の配置を「教授1、兼7」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅳ（終末期・緩和医療）」の専任教員等の配置を「教授1、兼1」から「教授1、助教1、兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「疾病・治療学Ⅴ（小児・性と生殖医療）」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「薬の作用と機序」の専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「兼1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「先端医療とヘルスケアテクノロジー」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「講師2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護学概論」の専任教員等の配置を「教授1、講師3、助教2」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックスキルⅡ（医療支援技術）」の専任教員等の配置を「教授1、講師3、助教2」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護過程とフィジカルアセスメント」の専任教員等の配置を「教授1、講師3、助教2」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックケア実践Ⅰ（入門）」の専任教員等の配置を「教授1、講師3、助教3、兼4」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ベーシックケア実践Ⅱ（基礎）」の専任教員等の配置を「教授1、講師3、助教3、兼4」から「教授1、講師2、助教2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護情報リテラシー」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護マネジメントⅠ（看護政策・管理学）」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「保健事業戦略とマネジメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助論Ⅰ（母性）」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助実践Ⅰ（母性）」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「ライフステージ発達援助論Ⅱ（小児）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助実践Ⅱ（小児）」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1、兼1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「小児看護学Ⅰ（講義）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「小児看護学Ⅱ（演習）」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。

（次頁につづく）

(前頁からつづく)

- ・教育効果を考慮し、「小児ケア実践」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1、兼1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ライフステージ発達援助論Ⅲ(成人)」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、講師2、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「急性期看護学Ⅰ(講義)」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「急性期看護学Ⅱ(演習)」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「急性期ケア実践」の専任教員等の配置を「准教授2、助教2、兼1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「慢性期看護学Ⅰ(講義)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1、助教1」から「教授1、講師2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「慢性期看護学Ⅱ(演習)」の専任教員等の配置を「教授2、講師1、助教1」から「教授1、講師2、兼3」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「慢性期ケア実践」の専任教員等の配置を「教授1、助教2」から「教授1、講師2」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「終末期ケア実践」の開講期を「後期」から「前期」に、専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「老年ケア実践」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「災害・健康危機管理論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1、講師1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健)」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習)」の開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「在宅看護実践」の専任教員等の配置を「講師1、助教1、兼2」から「講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「住環境とユニバーサルデザイン」の配当年次を「2・3・4」から「1・2・3・4」に、開講期を「後期」から「前期」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「ソーシャルインクルージョン」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅠa(入門)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授6、講師7、助教7」から「教授8、准教授5、講師10、助教7、助手1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅠb(基礎)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授6、講師7、助教7」から「教授8、准教授5、講師10、助教7、助手1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅡa(応用)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授6、講師7、助教7」から「教授8、准教授5、講師10、助教7、助手1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅡb(発展)」の専任教員等の配置を「教授8、准教授6、講師7、助教7」から「教授8、准教授5、講師10、助教7、助手1」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「プロジェクトⅢ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、講師6、助教5」から「教授8、准教授5、講師10、助教7、助手1」に変更。
- ・教育効果を考慮し、「看護統合実践」の専任教員等の配置を「教授6、准教授6、講師5、助教5」から「教授8、准教授4、講師7、助教5」に変更。
- ・新規教員着任に伴う科目担当教員の見直しを行い、「海外看護研修」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4、講師1、助教3」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
77 科目	138 科目	0 科目	215 科目	77 科目 [0]	138 科目 [0]	0 科目 [0]	215 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{215} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体					
	校舎敷地	276,538 262,852 m ² 194,962	0m ²	0m ²	276,538 262,852 m ² 194,962	赤坂キャンパス、国際 医療福祉大学市川病院 の追加のため校舎敷地 が増加。その他につい て記載ミスのため修正 (30)					
	運動場用地	100,751 88,807 m ² 83,147	0m ²	0m ²	100,751 88,807 m ² 83,147	成田キャンパス（医学 部）校地を無償借用の ため増加(28)					
	小 計	377,289 351,659 m ² 283,796	0m ²	0m ²	377,289 351,659 m ² 283,796	小田原保健医療学部と 小田原市とで土地の等 価交換を行い、18m ² 減 少(28)					
	そ の 他	113,975 372,772 m ² 372,790	0m ²	0m ²	113,975 372,772 m ² 372,790						
	合 計	491,264 724,431 m ² 656,559	0m ²	0m ²	491,264 724,431 m ² 656,559						
(2) 校 舎	専 用	212,896 191,625 m ² 143,615	0m ²	0m ²	212,896 191,625 m ² 143,615	大学全体					
	(178,828 157,557 m ²) 14,3615	(0m ²)	(0m ²)	(0m ²)	(178,828 157,557 m ²) 14,3615	記載ミスのため修正 (30)					
(3) 教 室 等	講 義 室	205 193 室 176	演 習 室	186 162 室 60	実験実習室	316 304 室 216	情報処理学習施設	23 19 室 18 (補助 職員 8 6 人) 4	語学学習施設	10 6 室 (補助 職員 0 人)	大学全体
	記載ミスのため修正 (30)										
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		教員研究室レイアウトの見直し による(元)				
	成田看護学部 看護学科				22—23 21 20 19 室		専任教員増加のため(29) 共同研究室を加算(28)				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学年進行に伴う増。図 書及び視聴覚資料につ いては本年度中に整備 予定(元) 図書、視聴覚資料、機 械・器具の増加分は新 規購入による。学術雑 誌の減少分は、H28報 告時に誤って冊数をカ ウントしていたものを 種数にて再カウントし たため(29)			
	成田看護学部	16,000 [2,240] 12,315 [918] 11,434 [829] 7,415 [484] 6,485 [49] (6,400 [896])	96 [29] 96 [28] 86 [27] 56 [5] 140 [0] (78 [23])	3,336 [2,205] 6,226 [4,785] 5,328 [4,064] 5,267 [4,004] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	784 474 418 253 234 (176)	2,000 3,273 3,179 3,098 2,936 (1600)	20 288 286 282 282 (16)				
	計	16,000 [2,240] 12,315 [918] 11,434 [829] 7,415 [484] 6,485 [49] (6,400 [896])	96 [29] 96 [28] 86 [27] 56 [5] 140 [0] (78 [23])	3,336 [2,205] 6,226 [4,785] 5,328 [4,064] 5,267 [4,004] 4,115 [2,892] (3,176 [2,085])	784 474 418 253 234 (176)	2,000 3,273 3,179 3,098 2,936 (1600)	20 288 286 282 282 (16)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体				
	8,564 7,756 m ² 7,087.11		1,853 1,653 席 1,613		367,360 340,000 冊 299,400		記載ミスのため修正 (30)				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体				
	7,465 6,675 m ² 5,715.34		弓道場		テニスコート		記載ミスのため修正 (30)				
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	朱書修正金額は5学科 合計(H28)		
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	477 13,000千円	87,750 8,000千円	4,000千円			
	共同研究費等	2,000千円	4,000千円	設備購入費	153,900 156,000千円	900,000 31,200千円	4,500千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
1,550千円		1,450千円	1,450千円	1,450千円	— 千円	— 千円					
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	国際医療福祉大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度
医学部	6	140	-	840	-	1.00	-	平成29年度	-
医学科	6	140	-	840	学士 (医学)	1.00	-	平成29年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
保健医療学部	4	545	-	2,180	-	0.98	-	平成7年度	-
看護学科	4	115	-	460	学士 (看護学)	0.97	-	平成7年度	栃木県大田原市北金丸 2600番1
理学療法学科	4	100	-	400	学士 (理学療法 学)	0.98	-	平成7年度	同上
作業療法学科	4	80	-	320	学士 (作業療法 学)	0.96	-	平成7年度	同上
言語聴覚学科	4	80	-	320	学士 (言語聴覚 学)	1.01	-	平成7年度	同上
視機能療法学科	4	50	-	200	学士 (視機能療法 学)	0.98	-	平成14年度	同上
放射線 ・情報科学科	4	120	-	480	学士 (放射線・情報 科学)	1.00	-	平成7年度	同上
医療福祉学部	4	140	5	570	-	0.96	-	平成9年度	-
医療福祉・マシント 学科	4	140	5	570	学士 (医療福祉 学) 学士 (医療マシント 学科)	0.96	-	平成9年度	同上
薬学部	6	180	-	1,080	-	1.07	-	平成18年度	-
薬学科	6	180	-	1,080	学士 (薬学)	1.07	-	平成18年度	同上
小田原保健医療学部	4	200	-	800	-	1.05	-	平成18年度	-
看護学科	4	80	-	320	学士 (看護学)	1.07	-	平成18年度	神奈川県小田原市城山一 丁目2番25号
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.04	-	平成18年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.04	-	平成18年度	同上
福岡看護学部	4	100	-	400	-	1.09	-	平成20年度	-
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	-	平成20年度	福岡県福岡市早良区百道 浜1-7-4
福岡保健医療学部	4	240	-	960	-	1.06	-	平成17年度	-
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	-	平成17年度	福岡県大川市榎津137-1
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.04	-	平成17年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.04	-	平成19年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.05	-	平成25年度	同上

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地
成田看護学部	4	100	-	400	-	1.09	-	平成28年度	-
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.09	-	平成28年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番
成田保健医療学部	4	240	-	960	-	1.06	-	平成28年度	-
理学療法学科	4	80	-	320	学士 (理学療法 学)	1.08	-	平成28年度	同上
作業療法学科	4	40	-	160	学士 (作業療法 学)	1.07	-	平成28年度	同上
言語聴覚学科	4	40	-	160	学士 (言語聴覚 学)	1.04	-	平成28年度	同上
医学検査学科	4	80	-	320	学士 (医学検査 学)	1.06	-	平成28年度	同上
赤坂心理・医療福祉 マネジメント学部	4	120	-	480	-	1.05	-	平成30年度	-
心理学科	4	60	-	240	学士 (心理学)	1.10	-	平成30年度	東京都港区赤坂4丁目1 -26
医療マネジメント 上学科	4	60	-	240	学士 (医療マナジ メント学)	1.00	-	平成30年度	同上
大学全体	-	2,005	5	8,670	-	1.04	-	平成7年度	-

大学の名称	国際医療福祉大学大学院									備 考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医療福祉学研究所 修士課程	2	235	-	470	-	1.56	-	平成11年度	-	
保健医療学専攻	2	160	-	320	修士 (保健医療 学)	1.74	-	平成11年度	栃木県大田原市北金丸 2600番1	
					修士 (看護学)		-			
					修士 (助産学)		-			
					修士 (言語聴覚 学)		-			
					修士 (生殖補助 医療学)		-			
					修士 (医療福祉教 育・管理学)		-			
					修士 (臨床検査 学)		-			
					修士 (災害医療 学)		-			

既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開 年 設 度	所 在 地	
医療福祉経営専攻	2	50	-	100	修士 (遺伝カウンセリング学)	-	-	平成13年度	同上	
					修士 (医療福祉学)	-	-			
					修士 (診療情報管理学)	-	-			
					修士 (医療ビジネス経営学)	-	-			
					修士 (医療福祉管理学)	-	-			
					修士 (介護福祉・ケアマネジメント学)	-	-			
					修士 (自立支援介護学)	-	-			
					修士 (自立支援実践ケアマネジメント学)	-	-			
					修士 (医療福祉ジャーナリズム学)	-	-			
臨床心理学専攻	2	25	-	50	修士 (臨床心理学)	-	-	平成19年度	同上	
					修士 (臨床心理学)	-	-			
医療福祉学研究科 博士課程	3	70	-	210	-	1.36	-	平成13年度	-	
保健医療学専攻	3	70	-	210	博士 (保健医療学)	1.36	-	平成13年度	同上	
					博士 (看護学)	-	-			
					博士 (助産学)	-	-			
					博士 (言語聴覚学)	-	-			
					博士 (生殖補助医療学)	-	-			
					博士 (臨床検査学)	-	-			

既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開 設 年 度	所 在 地	
					博士 (医療福祉 経営学)		-			
					博士 (医療福祉 学)		-			
					博士 (診療情報 管理学)		-			
					博士 (介護福祉・ ケアマネジメント 学)		-			
					博士 (臨床心理 学)		-			
					博士 (医療福祉 ジャーナリス ム学)		-			
薬科学研究科 修士課程	2	5	-	10	-	0.10	-	平成22年度	-	
生命薬科学専攻	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.10	-	平成22年度	同上	
薬学研究科 博士課程	4	5	-	20	-	0.55	-	平成24年度	-	
医療・生命薬学 専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.55	-	平成24年度	同上	
医学研究科 修士課程	2	10	-	20	-	1.40	-	平成30年度	-	
公衆衛生学専攻	2	10	-	20	修士 (公衆衛生 学)	1.40	-	平成30年度	千葉県成田市公津の杜4 丁目3番	
医学研究科 博士課程	4	20	-	80	-	1.10	-	平成30年度	-	
医学専攻	4	20	-	80	博士 (医学)	1.10	-	平成30年度	同上	
大学院全体	-	345	-	810	-	1.01	-	平成11年度	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	教授	野村 明美 (63) <平成28年4月> 博士(工学)	ベーシック・スキルⅠ (生活援助技術) ベーシック・スキルⅡ (医療支援技術) 看護過程とフィジカルアセスメント ベーシックケア実践Ⅰ (入門) ベーシックケア実践Ⅱ (基礎) 看護の理論と歴史 海外看護研修 看護学概論 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	野村 明美 (63) <平成28年4月> 博士(工学)	ベーシック・スキルⅠ (生活援助技術) ベーシック・スキルⅡ (医療支援技術) 看護過程とフィジカルアセスメント ベーシックケア実践Ⅰ (入門) ベーシックケア実践Ⅱ (基礎) 看護の理論と歴史 海外看護研修 看護学概論 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	野村 明美 (64) <平成28年4月> 博士(工学)	ベーシック・スキルⅠ (生活援助技術) ベーシック・スキルⅡ (医療支援技術) 看護過程とフィジカルアセスメント ベーシックケア実践Ⅰ (入門) ベーシックケア実践Ⅱ (基礎) 看護の理論と歴史 海外看護研修 看護学概論 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	野村 明美 (65) <平成28年4月> 博士(工学)	ベーシック・スキルⅠ (生活援助技術) ベーシック・スキルⅡ (医療支援技術) 看護過程とフィジカルアセスメント ベーシックケア実践Ⅰ (入門) ベーシックケア実践Ⅱ (基礎) 看護の理論と歴史 海外看護研修 看護学概論 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践 関連職種連携ワーク 海外保健福祉事情Ⅰ (講義)
専任	教授	新藤 悦子 (62) <平成28年4月> 博士(看護学)	エビデンスベースドプラクティス (研究と文獻) 人間発達学 ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年) ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人) 慢性期看護学Ⅰ (講義) 慢性期看護学Ⅱ (演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	新藤 悦子 (62) <平成28年4月> 博士(看護学)	エビデンスベースドプラクティス (研究と文獻) 人間発達学 ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年) ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人) 慢性期看護学Ⅰ (講義) 慢性期看護学Ⅱ (演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	新藤 悦子 (63) <平成28年4月> 博士(看護学)	人間発達学 ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年) ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人) 慢性期看護学Ⅰ (講義) 慢性期看護学Ⅱ (演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	新藤 悦子 (64) <平成28年4月> 博士(看護学)	人間発達学 ライフステージと発達援助実践Ⅲ (成人・老年) ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人) 慢性期看護学Ⅰ (講義) 慢性期看護学Ⅱ (演習) 慢性期ケア実践 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践 疾病・治療学Ⅲ (慢性期・発熱/全身疾患)
専任	教授	木戸 久美子 (48) <平成28年4月> 博士(医学)	ライフステージ発達援助論Ⅰ (母性) ライフステージ発達援助実践Ⅰ (母性) 性と生殖における健康と権利 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	木戸 久美子 (48) <平成28年4月> 博士(医学)	ライフステージ発達援助論Ⅰ (母性) ライフステージ発達援助実践Ⅰ (母性) 性と生殖における健康と権利 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践	専任	教授	木戸 久美子 (49) <平成28年4月> 博士(医学)	ライフステージ発達援助論Ⅰ (母性) ライフステージ発達援助実践Ⅰ (母性) 性と生殖における健康と権利 プロジェクトⅠa (入門) プロジェクトⅠb (基礎) プロジェクトⅡa (応用) プロジェクトⅡb (展開) プロジェクトⅢ (発展) 看護統合実践 問題解決とアイデアイノベーション 人間発達学 大学入門講座Ⅰ (基礎) エビデンスベースドプラクティス (研究と文獻) 大学入門講座Ⅰ (基礎) プレゼンテーション技法				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	担当授業科目名	
				榎 美奈子 (64) <平成29年4月> 修士(看護学)	専 教授	グローバルヘルスと母子保健 健康教育とヘルスカウンセリング まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護活動論Ⅱ(学校・産業保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) 地域ケアと家庭医療 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロデュース)				榎 美奈子 (65) <平成29年4月> 修士(看護学)		
				岡田 佳詠 (52) <平成29年4月> 博士(看護学)	専 教授	リラクゼーションの理論と実践 ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) 問題解決とアイデアノベーション プレゼンテーション技法 疾病・治療学Ⅶ(精神医療) 精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展)				岡田 佳詠 (54) <平成29年4月> 博士(看護学)		
				望月 聡一郎 (48) <平成29年4月> 修士(医療政策学)	専 教授	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学)					望月 聡一郎 (50) <平成29年4月> 修士(医療政策学)	
				松谷 美和子 (65) <平成30年4月> 博士(保健学)	専 学部長 教授	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学) 看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創出) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展)					松谷 美和子 (66) <平成30年4月> 博士(保健学)	
						グローバルヘルスと母子保健 健康教育とヘルスカウンセリング まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護活動論Ⅱ(学校・産業保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) 地域ケアと家庭医療 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロデュース) 公衆衛生学 関連職種連携ワーク					グローバルヘルスと母子保健 健康教育とヘルスカウンセリング まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護活動論Ⅱ(学校・産業保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) 地域ケアと家庭医療 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインⅡ(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインⅢ(コミュニティ・プロデュース) 公衆衛生学 関連職種連携ワーク	
						リラクゼーションの理論と実践 ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) 問題解決とアイデアノベーション プレゼンテーション技法 疾病・治療学Ⅶ(精神医療) 精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展)					リラクゼーションの理論と実践 エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) 疾病・治療学Ⅶ(精神医療) 精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) 関連職種連携論 プロジェクトⅢ(展開) 看護統合実践	
						ヘルスケア・インフォマティクス 看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学) 看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創出) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 看護情報リテラシー 医療事業戦略とマネジメント 小児看護学Ⅰ(講義) 災害・健康危機管理論 看護統合実践					ヘルスケア・インフォマティクス 看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学) 看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創出) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 看護情報リテラシー 医療事業戦略とマネジメント 小児看護学Ⅰ(講義) 災害・健康危機管理論 看護統合実践	
						大学入門講座Ⅱ(展開) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展)						大学入門講座Ⅱ(展開) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	准教授	實吉 佐知子 (55) <平成28年4月> (専門学校)	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学) 看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創造) 保健事業戦略とマネジメント 国際看護研修(途上国) 感染症看護論 災害・健康危機管理論 国際検疫看護論 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	准教授	實吉 佐知子 (55) <平成28年4月> (専門学校)	看護マネジメントⅠ(看護政策・管理学) 看護マネジメントⅡ(ヘルスケア経営と事業創造) 保健事業戦略とマネジメント 国際看護研修(途上国) 感染症看護論 災害・健康危機管理論 国際検疫看護論 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	准教授	實吉 佐知子 (57) <平成28年4月> (専門学校)	保健事業戦略とマネジメント 感染症看護論 国際検疫看護論 災害・健康危機管理論 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 まろづくり看護論 看護キャリア創造学Ⅰ(多様なキャリアを知る) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 国際医療福祉社 国際看護連携ワーク 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 看護キャリア創造学Ⅱ(キャリアの創造と挑戦) 大学入門講座Ⅰ(基礎) プレゼンテーション技法 問題解決とアイデアイノベーション
専任	准教授	森山 ますみ (52) <平成28年4月> 博士(看護学)	世界の中の和文 異文化体験実習 ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児) 小児ケア実践 国際看護学Ⅱ(活動の実際) 国際看護研修(途上国) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	准教授	森山 ますみ (51) <平成28年4月> 博士(看護学)	世界の中の和文 異文化体験実習 ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児) 小児ケア実践 国際看護学Ⅱ(活動の実際) 国際看護研修(途上国) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	准教授	森山 ますみ (53) <平成28年4月> 博士(看護学)	異文化体験実習 国際看護学Ⅱ(活動の実際) 国際看護研修(途上国) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 国際医療保健学 グローバルヘルスと母子保健 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 国際看護学Ⅰ(異文化と看護) 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 国際看護学Ⅰ(異文化と看護) 世界の中の和文 ライフステージ発達援助実践Ⅱ(小児) 小児ケア実践
専任	准教授	山内 英樹 (50) <平成29年4月> 修士(看護学)	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 急性期看護学Ⅰ(講義) 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	准教授	山内 英樹 (50) <平成29年4月> 修士(看護学)	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 急性期看護学Ⅰ(講義) 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	准教授	山内 英樹 (52) <平成29年4月> 修士(看護学)	急性期看護学Ⅰ(講義) 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージ発達援助実践Ⅲ(成人) 看護情報リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名																
専	准教授	村田 洋章 (41) <平成29年4月> 修士(看護学)	先端医療とヘルスケアテクノロジー 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	准教授	村田 洋章 (42) <平成29年4月> 修士(看護学)	先端医療とヘルスケアテクノロジー 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ベネシックケア実践Ⅱ(基礎) 問題解決とアイデアイノベーション ライフステージ発達援助助Ⅲ(成人) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) プレゼンテーション技法	専	准教授	村田 洋章 (43) <平成29年4月> 修士(看護学)	先端医療とヘルスケアテクノロジー 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ベネシックケア実践Ⅱ(基礎) 問題解決とアイデアイノベーション ライフステージ発達援助助Ⅲ(成人) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) プレゼンテーション技法 疾病・治療Ⅰ(急性期・院前・運動・感覚器) 疾病・治療Ⅱ(急性期・臓器別疾患) 薬の作用と機序 看護情報リテラシー 急性期看護学Ⅰ(講義)	専	准教授	久保 美紀 (48) <平成28年4月> 博士(都市環境科学)	慢性期看護学Ⅱ(演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	准教授	久保 美紀 (49) <平成28年4月> 博士(都市環境科学)	慢性期看護学Ⅱ(演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージ発達援助助Ⅲ(成人) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年)	専	准教授	大原 裕子 (46) <平成28年4月> 博士(看護学)	慢性期看護学Ⅱ(演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	准教授	大原 裕子 (47) <平成28年4月> 博士(看護学)	慢性期看護学Ⅱ(演習) 慢性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージ発達援助助Ⅲ(成人) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年)	専	准教授	楢生 文宏 (46) <平成28年4月>	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) グローバルヘルスと母子保健 健康教育とヘルスカウンセリング まちづくり看護論 公衆衛生看護活動Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護活動Ⅱ(学校・産業保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) 看護ケアと家庭医療 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) プレゼンテーション技法 公衆衛生学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	天野 敏江 (44) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	講師	天野 敏江 (44) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	講師	天野 敏江 (45) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) リラクゼーションの理論と実践	専	講師	天野 敏江 (47) <平成28年4月> 修士(看護学)	精神看護学Ⅰ(講義) 精神看護学Ⅱ(演習) 精神ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 リラクゼーションの理論と実践 看護職連携ワーク 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) プレゼンテーション技法 問題解決とアイデア ペーシジョン
専	講師	保田 江美 (38) <平成29年4月> 修士(学際情報学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 健康教育とヘルスカウンセリング プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	講師	保田 江美 (38) <平成29年4月> 修士(学際情報学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 健康教育とヘルスカウンセリング プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	講師	保田 江美 (39) <平成29年4月> 修士(学際情報学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 健康教育とヘルスカウンセリング プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ベーシックスキルⅠ(生活援助技術) ベーシックスキルⅡ(医療支援技術) 看護過程とフィジカルアセスメント ベーシックケア実践Ⅰ(入門) 看護の理論と歴史 看護学概論	専	講師	保田 江美 (41) <平成29年4月> 修士(学際情報学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ベーシックスキルⅠ(生活援助技術) ベーシックスキルⅡ(医療支援技術) 看護過程とフィジカルアセスメント ベーシックケア実践Ⅰ(入門) 看護の理論と歴史 看護学概論 キャリアデザインⅠ(基礎) キャリアデザインⅡ(発展) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義)
専	講師	成澤 明 (38) <平成28年4月> 修士(看護学)	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 老年看護学Ⅱ(演習) 老年ケア実践 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 住環境とユニバーサルデザイン 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	講師	成澤 明 (38) <平成28年4月> 修士(看護学)	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 老年看護学Ⅱ(演習) 老年ケア実践 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 住環境とユニバーサルデザイン 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専	講師	成澤 明 (39) <平成28年4月> 修士(看護学)	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 老年看護学Ⅱ(演習) 老年ケア実践 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 住環境とユニバーサルデザイン 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージと発達援助論Ⅳ(老年) 人間発達学	専	講師	成澤 明 (41) <平成28年4月> 修士(看護学)	ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 老年看護学Ⅱ(演習) 老年ケア実践 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 住環境とユニバーサルデザイン 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージと発達援助論Ⅳ(老年) 人間発達学 経営の仕組み 老年看護学Ⅰ(講義) ジェンテックロジーの看護への応用
専	講師	清水 信輔 (33) <平成28年4月> 修士(健康マネジメント学)	まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護活動論Ⅱ(学校・産業保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展)	専	講師	清水 信輔 (33) <平成28年4月> 修士(健康マネジメント学)	まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展)	専	講師	清水 信輔 (33) <平成28年4月> 修士(健康マネジメント学)	まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展)	専	講師	清水 信輔 (33) <平成28年4月> 修士(健康マネジメント学)	まちづくり看護論 公衆衛生看護活動論Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 公衆衛生看護学実践Ⅱ(産業保健) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名				
専任	助教	二田水 彰 (33) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 国際看護研修(途上国) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	二田水 彰 (34) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 国際看護研修(途上国) 公衆衛生看護学実践Ⅰ(行政保健) 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	二田水 彰 (35) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 国際看護研修(途上国) 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 国際保健学 国際医療保健学 グローバルヘルスと母子保健 国際看護学Ⅰ(異文化と看護) 国際看護学Ⅱ(異文化と看護) ベーシックケア実践Ⅰ(入門) 異文化体験実習 国際看護学Ⅱ(活動の実践) 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインⅡ(コミュニティ・デザインの基礎) 海外保健福祉事情Ⅰ(実習) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習)	専任	助教	二田水 彰 (36) <平成28年4月> 修士(看護学)	国際看護研修(途上国) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 国際医療保健学 グローバルヘルスと母子保健 国際看護学Ⅰ(異文化と看護) 異文化体験実習 国際看護学Ⅱ(活動の実践) 健康社会デザインⅠ(コミュニティ・デザインの基礎) 海外保健福祉事情Ⅰ(実習) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 看護情報リテラシー
専任	助教	浅川 翔子 (31) <平成29年4月> 修士(看護学)	急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	浅川 翔子 (31) <平成29年4月> 修士(看護学)	急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	浅川 翔子 (32) <平成29年4月> 修士(看護学)	急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) ベーシックケア実践Ⅰ(入門)	専任	助教	浅川 翔子 (33) <平成29年4月> 修士(看護学)	急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) ベーシックケア実践Ⅰ(入門) 関連職種連携ワーク エビデンスベースドプラクティス(研究と文献) プレゼンテーション技法 先端医療とヘルスケアテクノロジー 看護情報リテラシー ライフステージ発達援助論Ⅲ(成人) 急性期看護学Ⅰ(講義)
専任	助教	富田 亜沙子 (30) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	富田 亜沙子 (30) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 海外看護研修 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	富田 亜沙子 (31) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 在宅看護実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	富田 亜沙子 (32) <平成28年4月> 修士(看護学)	在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 在宅看護実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義) 関連職種連携ワーク 住環境とユニバーサルデザイン プレゼンテーション技法
専任	助教	川村 崇部 (30) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 在宅看護実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	川村 崇部 (30) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 在宅看護実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践	専任	助教	川村 崇部 (31) <平成28年4月> 修士(看護学)	ベーシックケア実践Ⅰ(入門) ベーシックケア実践Ⅱ(基礎) ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 在宅看護実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 ライフステージと発達援助実践Ⅲ(成人・老年) 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義)	専任	助教	川村 崇部 (32) <平成28年4月> 修士(看護学)	在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習) 在宅看護実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(展開) プロジェクトⅢ(発展) 看護統合実践 在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義) 関連職種連携ワーク 住環境とユニバーサルデザイン プレゼンテーション技法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	福岡 香茂子 (41) <平成31年4月> 修士(看護学)
		ライフステージ発達援助論Ⅱ(小児) 小児看護学Ⅱ(演習) プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(展開)
専	助教	武田 彩子 (54) <平成31年4月> 修士(看護学)
		急性期看護学Ⅰ(講義) 急性期看護学Ⅱ(演習) 急性期ケア実践 プロジェクトⅠa(入門) プロジェクトⅠb(基礎) プロジェクトⅡa(応用) プロジェクトⅡb(発展) プロジェクトⅢ(展開)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤 俊彦 (63) <平成28年4月> 博士(保健学)
		統計学 疫学・保健医療統計学
兼任	教授	天野 隆弘 (72) <平成28年4月> 博士(医学)
		医学/医療史
兼任	教授	岩崎 聡 (55) <平成29年4月> 博士(医学)
		疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)
兼任	教授	大澤 進 (68) <平成28年4月> 博士(学術)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携実習 関連職種連携ワーク
兼任	教授	亀口 憲治 (68) <平成28年4月> 博士(教育心理学)
		コミュニケーション概論 雑談と傾聴-話す力と聴く力- 臨床心理学概論
兼任	教授	川合 陽子 (67) <平成29年4月>
		疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患) 疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)
兼任	教授	河野 寿夫 (68) <平成30年4月>
		疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)
兼任	教授	菊池 哲郎 (68) <平成28年4月>
		経済の仕組み 経済の歴史 世界の経済 世界遺産と国際文化政策
兼任	教授	北村 義浩 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
		国際医療福祉論 公衆衛生学 感染と免疫
兼任	教授	河野 眞 (49) <平成28年4月> 修士(医療福祉経営学)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習)
兼任	教授	小堀 浩幸 (51) <平成28年4月> 博士(医学)
		からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 薬の作用と機序
兼任	教授	佐藤 敬久 (55) <平成29年4月>
		地域ケアと家庭医療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩崎 聡 (55) <平成29年4月> 博士(医学)
		疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)
兼任	教授	大澤 進 (68) <平成28年4月> 博士(学術)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携実習 関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)
兼任	教授	亀口 憲治 (68) <平成28年4月> 博士(教育心理学)
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-
兼任	教授	川合 陽子 (67) <平成29年4月>
		疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患) 疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)
兼任	教授	河野 寿夫 (68) <平成30年4月>
		疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)
兼任	教授	北村 義浩 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
		国際医療福祉論
兼任	教授	河野 眞 (49) <平成28年4月> 修士(医療福祉経営学)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習)
兼任	教授	小堀 浩幸 (51) <平成28年4月> 博士(医学)
		薬の作用と機序
兼任	教授	佐藤 敬久 (55) <平成29年4月>
		地域ケアと家庭医療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩崎 聡 (55) <平成29年4月> 博士(医学)
		疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)
兼任	教授	大澤 進 (68) <平成28年4月> 博士(学術)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携実習 関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 大学入門講座Ⅱ(展開)
兼任	教授	亀口 憲治 (68) <平成28年4月> 博士(教育心理学)
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-
兼任	教授	川合 陽子 (67) <平成29年4月>
		疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患) 疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)
兼任	教授	河野 寿夫 (68) <平成30年4月>
		疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)
兼任	教授	北村 義浩 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
		国際医療福祉論
兼任	教授	河野 眞 (49) <平成28年4月> 修士(医療福祉経営学)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開)
兼任	教授	小堀 浩幸 (51) <平成28年4月> 博士(医学)
		薬の作用と機序
兼任	教授	佐藤 敬久 (55) <平成29年4月>
		地域ケアと家庭医療

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	岩崎 聡 (55) <平成29年4月> 博士(医学)
		疾病・治療学Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)
兼任	教授	大澤 進 (68) <平成28年4月> 博士(学術)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携実習 関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 大学入門講座Ⅱ(展開)
兼任	教授	亀口 憲治 (68) <平成28年4月> 博士(教育心理学)
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-
兼任	教授	川合 陽子 (67) <平成29年4月>
		疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患) 疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)
兼任	教授	河野 寿夫 (68) <平成30年4月>
		疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)
兼任	教授	北村 義浩 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
		国際医療福祉論
兼任	教授	河野 眞 (49) <平成28年4月> 修士(医療福祉経営学)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 大学入門講座Ⅱ(展開) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 国際医療福祉論 リハビリテーション概論 大学入門講座Ⅰ(基礎)
兼任	教授	小堀 浩幸 (51) <平成28年4月> 博士(医学)
		薬の作用と機序
兼任	教授	佐藤 敬久 (55) <平成29年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大澤 進 (68) <平成28年4月> 博士(学術)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携実習 関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 大学入門講座Ⅱ(展開)
兼任	教授	亀口 憲治 (68) <平成28年4月> 博士(教育心理学)
		雑談と傾聴-話す力と聴く力-
兼任	教授	川合 陽子 (67) <平成29年4月>
		疾病・治療学Ⅲ(慢性期・総論/全身疾患) 疾病・治療学Ⅳ(終末期・緩和医療)
兼任	教授	河野 寿夫 (68) <平成30年4月>
		疾病・治療学Ⅴ(小児・性と生殖医療)
兼任	教授	北村 義浩 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
		国際医療福祉論
兼任	教授	河野 眞 (49) <平成28年4月> 修士(医療福祉経営学)
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 大学入門講座Ⅱ(展開) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 国際医療福祉論 リハビリテーション概論 大学入門講座Ⅰ(基礎)
兼任	教授	小堀 浩幸 (51) <平成28年4月> 博士(医学)
		薬の作用と機序
兼任	教授	佐藤 敬久 (55) <平成29年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	城間 将江 (63) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						
兼任	成田保健医療学部学部長 教授	杉原 素子 (73) <平成28年4月> 修士(文学)	兼任	成田保健医療学部学部長 教授	兼任	成田保健医療学部学部長 教授	兼任	教授
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習						リハビリテーション概論
兼任	教授	西田 裕介 (40) <平成28年4月> 博士(保健医療学)	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携論 関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 レクリエーション概論						関連職種連携ワーク 関連職種連携実習 医療管理学 大学入門講座Ⅰ(基礎) 大学入門講座Ⅱ(展開) 健康科学理論
兼任	教授	乗松 祐佐 (41) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	兼任	教授		
		リハビリテーション概論						疾病・治療Ⅰ(急性期・総論/運動・感覚器)
兼任	教授	林 琢磨 (51) <平成28年4月> 博士(薬学)	兼任	教授				
		生物学 国際医療通訳入門						生物学 国際医療通訳入門 からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 感染と免疫
兼任	教授	堀田 聡子 (39) <平成28年4月> 博士(国際公共政策)						
		社会福祉学 ケアマネジメント論						
兼任	教授	丸木 一成 (67) <平成28年4月>						
		新聞でみた日本と世界 マスメディア論 社会保障制度論						
兼任	教授	丸山 仁司 (65) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授				
		医療福祉教養講義						医療福祉教養講義
兼任	教授	三宅 克也 (52) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	兼任	教授	兼任	教授
		からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)						からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)
								からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	教授	宮崎 路子 (59) <平成28年4月> 修士(教育学)								
		英語ロ-1(視聴覚英語基礎) 英語ロ-2(視聴覚英語応用) 英語ライティング1 (Primary) 英語ライティング2 (Basic) 上級英語会話1(発音) 上級英語会話2(聴合)								
兼任	教授	宮田 哲郎 (61) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	宮田 哲郎 (61) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	宮田 哲郎 (62) <平成28年4月> 博士(医学)		
		救急医学 疾病・治療学Ⅱ(急性期・ 臓器別疾患)			救急医学 疾病・治療学Ⅱ(急性期・ 臓器別疾患)			疾病・治療学Ⅱ(急性期・ 臓器別疾患)		
兼任	教授	武藤 正樹 (67) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	武藤 正樹 (67) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	武藤 正樹 (68) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授
		組織運営管理論 リスクマネジメント論 保健医療福祉制度論			リスクマネジメント論			リスクマネジメント論		
兼任	教授	桃井 真理子 (68) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	桃井 真理子 (68) <平成28年4月> 博士(医学)					
		海外保健福祉事情Ⅰ(講義)			海外保健福祉事情Ⅰ(講義)					
兼任	教授	山本 澄子 (64) <平成28年4月> 博士(工学)	兼任	教授	山本 澄子 (64) <平成28年4月> 博士(工学)	兼任	教授	山本 澄子 (65) <平成28年4月> 博士(工学)		
		人間工学 福祉支援工学概論 ジェロントロジーの看護への応用			ジェロントロジーの看護への応用			ジェロントロジーの看護への応用		
兼任	教授	佐藤 禎一 (74) <平成28年4月>	兼任	教授	佐藤 禎一 (74) <平成28年4月>	兼任	教授	佐藤 禎一 (75) <平成28年4月>	兼任	教授
		世界遺産と国際文化政策			世界遺産と国際文化政策			世界遺産と国際文化政策		
兼任	教授	鹿島 晴雄 (71) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鹿島 晴雄 (71) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授	鹿島 晴雄 (72) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	教授
		人間学			人間学			人間学		
兼任	教授	門脇 弘子 (68) <平成28年4月>	兼任	教授	門脇 弘子 (68) <平成28年4月>	兼任	教授	門脇 弘子 (69) <平成28年4月>	兼任	教授
		人間と栄養 食と人間			人間と栄養 食と人間			人間と栄養 食と人間		
兼任	教授	稲垣 誠一 (60) <平成28年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	稲垣 誠一 (60) <平成28年4月> 博士(経済学)	兼任	教授	稲垣 誠一 (61) <平成28年4月> 博士(経済学)	兼任	教授
		統計学 疫学・保健医療統計学 情報処理Ⅰ(初歩)			統計学 疫学・保健医療統計学 情報処理Ⅰ(初歩)			統計学 疫学・保健医療統計学 情報処理Ⅰ(初歩)		
兼任	教授	金野 光博 (60) <平成28年4月>	兼任	教授	金野 光博 (60) <平成28年4月>	兼任	教授	金野 光博 (61) <平成28年4月>	兼任	教授
		社会保障制度論 保健医療福祉制度論			社会保障制度論 保健医療福祉制度論			社会保障制度論 保健医療福祉制度論		
兼任	教授	高須賀 茂文 (60) <平成28年5月> 修士(イノベーション)	兼任	教授	高須賀 茂文 (60) <平成28年5月> 修士(イノベーション)	兼任	教授	高須賀 茂文 (61) <平成28年5月> 修士(イノベーション)	兼任	教授
		アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論			アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論			海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 国際医療福祉論 大学入門講座Ⅱ(展開)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
					兼任	教授	川上 和久 (58) <平成28年4月> 修士(社会心理学)	新聞でみた日本と世界 マスメディア論 社会学(人間と社会) 郷土論					兼任	教授	川上 和久 (61) <平成28年4月> 修士(社会心理学)	新聞でみた日本と世界 マスメディア論 社会学(人間と社会)
					兼任	教授	黒澤 和生 (60) <平成28年4月> 博士(保健学)	医学/医療史					兼任	教授	黒澤 和生 (62) <平成28年4月> 博士(保健学)	医学/医療史
					兼任	教授	長沢 光章 (58) <平成28年4月> 博士(医学)	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御)					兼任	教授	長沢 光章 (61) <平成28年4月> 博士(医学)	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 感染と免疫 災害保健学
					兼任	教授	戸松 鶴晴 (62) <平成28年4月> 修士(浄土学) 修士(神学)	死生学-死を通して生を考える- 宗教学					兼任	教授	戸松 鶴晴 (65) <平成28年4月> 修士(浄土学) 修士(神学)	死生学-死を通して生を考える- 宗教学
					兼任	教授	埴岡 雄一 (57) <平成28年4月>	経済の仕組み 医療管理学								
					兼任	教授	加藤 尚子 (52) <平成28年4月> 博士(ヒューマン・77科学)	文化人類学					兼任	教授	加藤 尚子 (55) <平成28年4月> 博士(ヒューマン・77科学)	文化人類学
					兼任	教授	宮嶋 宏行 (46) <平成28年4月> 博士(工学)	人間工学 情報処理Ⅱ(基礎) 情報処理Ⅲ(応用) 物理学					兼任	教授	宮嶋 宏行 (48) <平成28年4月> 博士(工学)	人間工学 情報処理Ⅱ(基礎) 情報処理Ⅲ(応用) 物理学 医療情報学概論 電子カルテによるチーム医療概論 大学入門講座Ⅰ(基礎)
					兼任	教授	松谷 有希雄 (67) <平成28年4月> 修士(公衆衛生)	大学入門講座Ⅰ(基礎)					兼任	教授	松谷 有希雄 (69) <平成28年4月> 修士(公衆衛生)	大学入門講座Ⅰ(基礎) 関連職種連携論
					兼任	教授	原 富美 (65) <平成28年4月> 学士(医学)	疾病・治療学Ⅵ(精神医療)								
					兼任	教授	北村 聖 (62) <平成28年4月> 博士(医学)	疾病・治療学Ⅲ(慢性期・緩和/全身疾患)					兼任	教授	北村 聖 (63) <平成28年4月> 博士(医学)	疾病・治療学Ⅲ(慢性期・緩和/全身疾患)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	福井 謙 (44) <平成28年4月> 博士(学術)	日本近現代史	福井 謙 (45) <平成28年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (46) <平成28年4月> 博士(学術)	兼任	准教授	福井 謙 (47) <平成28年4月> 修士(国際学) 修士(学術) 博士(学術)
		歴史学 日本近現代史 韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)		日本近現代史			日本近現代史			日本近現代史
兼任	准教授	田中 泰郎 (57) <平成28年4月> 修士(TEFL/TESL)	英語B-1(視聴覚英語基礎) 英語B-2(視聴覚英語応用) 英語ライティング1 (Primary) 英語ライティング2 (Basic) 英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 基礎英文法1(Primary) 基礎英文法2(Basic)	田中 泰郎 (58) <平成28年4月> 修士(TEFL/TESL)	兼任	准教授	田中 泰郎 (59) <平成28年4月> 修士(TEFL/TESL)	兼任	准教授	田中 泰郎 (60) <平成28年4月> 修士(TEFL/TESL)
				英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 基礎英文法1(Primary) 基礎英文法2(Basic)			英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 基礎英文法1(Primary) 基礎英文法2(Basic)			英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 基礎英文法1(Primary) 基礎英文法2(Basic)
兼任	准教授	工藤 芳子 (54) <平成28年4月>	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)	工藤 芳子 (55) <平成28年4月>	兼任	准教授	工藤 芳子 (56) <平成28年4月>	兼任	准教授	工藤 芳子 (57) <平成28年4月>
				感染症と免疫			感染症と免疫			感染症と免疫
兼任	准教授	羽田明浩 (54) <平成29年4月> 博士(経営学)	組織運営管理論	羽田明浩 (55) <平成29年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	羽田明浩 (56) <平成29年4月> 博士(経営学)	兼任	教授	羽田明浩 (57) <平成29年4月> 博士(経営学)
				組織運営管理論			組織運営管理論			組織運営管理論
兼任	准教授	清宮 正徳 (52) <平成28年4月> 博士(医学)	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 化学	清宮 正徳 (53) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	清宮 正徳 (54) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	清宮 正徳 (55) <平成28年4月> 博士(医学)
				からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 化学 関連職種連携ワーク 関連職種連携論			からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 化学 関連職種連携ワーク 関連職種連携論			からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 化学 関連職種連携ワーク 関連職種連携論
兼任	准教授	小川 俊夫 (50) <平成28年4月> 博士(医学)	公衆衛生学	小川 俊夫 (51) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (52) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任	准教授	小川 俊夫 (53) <平成28年4月> 博士(医学)
				国際医療福祉論			国際医療福祉論			国際医療福祉論
兼任	准教授	梅宮 敏文 (82) <平成28年4月> 修士(学術)	感染症と免疫	梅宮 敏文 (83) <平成28年4月> 修士(学術)	兼任	准教授	梅宮 敏文 (84) <平成28年4月> 修士(学術)	兼任	教授	梅宮 敏文 (85) <平成28年4月> 修士(学術)
				関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)			関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)			からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)
兼任	准教授	吉田 清滋 (64) <平成29年4月>	大学入門講座Ⅰ(基礎) リハビリテーション概論 ボランティアコーディネーター論	吉田 清滋 (65) <平成29年4月>	兼任	准教授	吉田 清滋 (66) <平成29年4月>	兼任	准教授	吉田 清滋 (67) <平成29年4月>
兼任	准教授	林 和典 (57) <平成29年4月> 修士(福祉マネジメント)	ケアマネジメント論 ケースワーク論	林 和典 (58) <平成29年4月> 修士(福祉マネジメント)	兼任	准教授	林 和典 (59) <平成29年4月> 修士(福祉マネジメント)	兼任	教授	林 和典 (60) <平成29年4月> 修士(福祉マネジメント)
				ケースワーク論 ボランティアコーディネーター論			ケースワーク論			ケースワーク論 ボランティアコーディネーター論
兼任	准教授	小野寺 敏志 (53) <平成29年4月> 修士(人間科学)	錯誤と傾聴-話す力と聴く力-	小野寺 敏志 (54) <平成29年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	小野寺 敏志 (55) <平成29年4月> 修士(人間科学)	兼任	准教授	小野寺 敏志 (56) <平成29年4月> 修士(人間科学)
				錯誤と傾聴-話す力と聴く力-			錯誤と傾聴-話す力と聴く力-			錯誤と傾聴-話す力と聴く力-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
						白井 明典 (50) <平成29年4月> 博士(学術)		白井 明典 (51) <平成29年4月> 博士(学術)		白井 明典 (52) <平成29年4月> 博士(学術)
						雑談と傾聴-話す力と聴く力		雑談と傾聴-話す力と聴く力		雑談と傾聴-話す力と聴く力
						波田野 茂幸 (50) <平成29年4月> 修士(人間科学)		波田野 茂幸 (51) <平成29年4月> 修士(人間科学)		波田野 茂幸 (52) <平成29年4月> 修士(人間科学)
						雑談と傾聴-話す力と聴く力		雑談と傾聴-話す力と聴く力		雑談と傾聴-話す力と聴く力
						堀田 美樹 (50) <平成29年4月> 修士(教育学)		堀田 美樹 (51) <平成29年4月> 修士(教育学)		堀田 美樹 (52) <平成29年4月> 修士(教育学)
						レクリエーション概論		レクリエーション概論 関連職種連携ワーク		レクリエーション概論 関連職種連携ワーク 大学入門講座1(基礎) 関連職種連携論
						小島 秀吾 (46) <平成29年4月> 博士(医学)		小島 秀吾 (47) <平成29年4月> 博士(医学)		小島 秀吾 (48) <平成29年4月> 博士(医学)
						雑談と傾聴-話す力と聴く力		雑談と傾聴-話す力と聴く力		雑談と傾聴-話す力と聴く力
						押味 貴之 (44) <平成29年4月> 学士(国際関係学) 学士(医学)		押味 貴之 (45) <平成29年4月> 学士(国際関係学) 学士(医学)		押味 貴之 (46) <平成29年4月> 学士(国際関係学) 学士(医学)
						国際医療通訳入門		国際医療通訳入門		国際医療通訳入門
						志賀 隆 (40) <平成29年4月> 学士(医学) Master of Public Health(米國)		志賀 隆 (41) <平成29年4月> 学士(医学) Master of Public Health(米國)		志賀 隆 (42) <平成29年4月> 学士(医学) Master of Public Health(米國)
						救急医学		救急医学		救急医学
								森井 和枝 (81) <平成30年4月> 修士(保健医療学)		森井 和枝 (82) <平成30年4月> 修士(保健医療学)
								関連職種連携ワーク		関連職種連携ワーク
								佐藤 正一 (59) <平成28年4月> 博士(保健学)		佐藤 正一 (60) <平成28年4月> 博士(保健学)
								関連職種連携ワーク からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)		からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 関連職種連携論
								山口 みどり (54) <平成30年4月> 博士(医学)		山口 みどり (55) <平成30年4月> 博士(医学)
								予防保健学		国際医療福祉論
								新川 寿子 (50) <平成30年4月> 修士(保健医療学)		新川 寿子 (51) <平成30年4月> 修士(保健医療学)
								国際医療福祉論		国際医療福祉論
								光山 奈保子 (50) <平成30年4月> 博士(学術)		光山 奈保子 (51) <平成30年4月> 博士(学術)
								経済の仕組み 経済の歴史 世界の経済		経済の仕組み 経済の歴史 世界の経済

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
						兼任 准教授	兼井 健三 (49) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	兼任 准教授	兼井 健三 (50) <平成30年4月> 博士(保健医療学)
							国際医療福祉論		国際医療福祉論
						兼任 准教授	飯川 誠司 (41) <平成30年4月> 修士(法学)	兼任 准教授	飯川 誠司 (42) <平成30年4月> 修士(法学)
							法学 法と道徳・倫理 医療関連法規		法学 法と道徳・倫理 医療関連法規
						兼任 准教授	糸数 昌史 (40) <平成28年4月> 博士(保健医療学)	兼任 准教授	糸数 昌史 (41) <平成28年4月> 博士(保健医療学)
							国際医療福祉論		関連職種連携論
								兼任 准教授	小堀 修 (42) <平成30年9月> 博士(学術)
									心理学 臨床心理学概論
								兼任 准教授	菅野 倫子 (45) <平成31年4月>
									海外保健福祉事情Ⅰ(講義)
								兼任 准教授	石山 寿子 (56) <平成31年4月> 博士(法学)
									海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 慢性看護学Ⅱ(演習)
								兼任 准教授	井上 由里 (54) <平成31年4月> 博士(保健学)
									健康科学実験 関連職種連携ワーク
兼任	講師	井尻 総一郎 (38) <平成28年4月> 博士(薬学)							
		化学							
兼任	講師	磯野 真穂 (39) <平成28年4月> 博士(文学)							
		文化人類学							
兼任	講師	江田 哲也 (37) <平成28年4月> 博士(工学)							
		情報処理Ⅰ(初歩) 情報処理Ⅱ(基礎) 情報処理Ⅲ(応用)							
兼任	講師	岡村 直利 (45) <平成28年4月> 博士(理学)							
		物理学							

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専任	専任教員	木村 亮子 (34) <平成28年4月>								
専任	専任教員	日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 医療福祉専門漢字								
専任	専任教員	櫻井 留美 (29) <平成28年4月> 修士(国際学)								
専任	専任教員	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 医療福祉専門語彙								
兼任	講師	佐藤 寛子 (44) <平成28年4月> 博士(ワシ大)	佐藤 寛子 (44) <平成28年4月> 博士(ワシ大)	佐藤 寛子 (45) <平成28年4月> 博士(ワシ大)	佐藤 寛子 (46) <平成28年4月> 博士(ワシ大)	佐藤 寛子 (47) <平成28年4月> 博士(ワシ大)				
兼任	講師	英語A-3(講読中級1) 英語A-4(講読中級2) 資格英語1(Primary) 資格英語2(Basic) フランス語入門(会話含む) 上級英語文法講義 フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む)	英語A-3(講読中級1) 英語A-4(講読中級2) 資格英語1(Primary) 資格英語2(Basic) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む) 英語B-1(視聴覚英語基礎) 英語B-2(視聴覚英語応用) 英語A-1(講読基礎) 英語A-2(講読応用)	資格英語1(Primary) 資格英語2(Basic) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む) 英語B-1(視聴覚英語基礎) 英語B-2(視聴覚英語応用)	資格英語1(Primary) 資格英語2(Basic) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む) 英語B-1(視聴覚英語基礎) 英語B-2(視聴覚英語応用) 英語A-1(講読基礎) 英語A-2(講読応用)	資格英語1(Primary) 資格英語2(Basic) フランス語入門(会話含む) フランス語応用(会話含む) 英語A-1(講読基礎) 英語A-2(講読応用)				
兼任	講師	鈴木 純子 (46) <平成28年4月>								
兼任	講師	遺伝と医療								
兼任	講師	寺田 佳孝 (33) <平成28年4月> 博士(教育学)	寺田 佳孝 (33) <平成28年4月> 博士(教育学)	寺田 佳孝 (34) <平成28年4月> 博士(教育学)						
兼任	講師	教育学	教育学	教育学						
兼任	講師	宮森 隆行 (41) <平成28年4月> 修士(保健医療学) 修士(整形徒手療法学)	宮森 隆行 (41) <平成28年4月> 修士(保健医療学) 修士(整形徒手療法学)	宮森 隆行 (42) <平成28年4月> 修士(保健医療学) 修士(整形徒手療法学)	宮森 隆行 (43) <平成28年4月> 修士(保健医療学) 修士(整形徒手療法学)					
兼任	講師	健康科学実践	健康科学実践	健康科学実践	健康科学実践 関連職種連携ワーク					
兼任	講師	茅野 正雄 (80) <平成28年4月> 修士(応用言語学)								
兼任	講師	日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-D(専門日本語) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-C(発表・討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 医療福祉専門語彙								
兼任	講師	林 真理子 (47) <平成28年4月> 博士(理学)	林 真理子 (47) <平成28年4月> 博士(理学)	林 真理子 (48) <平成28年4月> 博士(理学)	林 真理子 (49) <平成28年4月> 博士(理学)	林 真理子 (50) <平成28年4月> 博士(理学)				
兼任	講師	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)	からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)				
兼任	講師	山口 良寿 (46) <平成28年4月> 博士(医学)	山口 良寿 (46) <平成28年4月> 博士(医学)	山口 良寿 (47) <平成28年4月> 博士(医学)	山口 良寿 (48) <平成28年4月> 博士(医学)	山口 良寿 (49) <平成28年4月> 博士(医学)				
兼任	講師	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 遺伝と医療 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携ワーク	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 遺伝と医療	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 遺伝と医療	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 遺伝と医療 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携ワーク	からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防御) 遺伝と医療 海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 関連職種連携ワーク				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等		職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名					担当授業科目名					担当授業科目名		担当授業科目名	
				兼任 講師	木村 明佐子 (40) <平成28年4月> 博士(医学)			兼任 講師	木村 明佐子 (41) <平成28年4月> 博士(医学)			兼任 講師	木村 明佐子 (42) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任 講師	木村 明佐子 (43) <平成28年4月> 博士(医学)
					からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)				感染と免疫						からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義)
				兼任 講師	小川 典香 (39) <平成28年4月> 修士(学術)										
					日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-C(論議討論) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-C(読後・討論) 医療福祉専門漢字										
				兼任 講師	池田 勝秀 (39) <平成28年4月> 博士(医学)			兼任 講師	池田 勝秀 (40) <平成28年4月> 博士(医学)			兼任 講師	池田 勝秀 (41) <平成28年4月> 博士(医学)	兼任 講師	池田 勝秀 (42) <平成28年4月> 博士(医学)
					からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)				からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛)				からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 関連職種連携ワーク		からだの探求Ⅱ(生体のしくみと生体防衛) 海外保健福祉事情Ⅰ(講義)
				兼任 講師	中村 義緒 (37) <平成28年4月> 博士(作業療法学)			兼任 講師	中村 義緒 (38) <平成28年4月> 博士(作業療法学)			兼任 講師	中村 義緒 (39) <平成28年4月> 博士(作業療法学)		
					福祉支援工学概論				福祉支援工学概論				福祉支援工学概論 関連職種連携ワーク		
				兼任 講師	Coemin Florescu (35) <平成28年4月> 修士(日本研究学) 修士(応用言語学)										
					英語B-1(視聴覚英語基礎) 英語B-2(視聴覚英語応用) 英語A-1(聴覚基礎) 英語A-2(聴覚応用) 基礎英文法1(Primary) 基礎英文法2(Basic) 上級英文文献読解										
				兼任 講師	岡 純一郎 (48) <平成29年4月> 博士(医学)			兼任 講師	岡 純一郎 (48) <平成29年4月> 博士(医学)			兼任 講師	岡 純一郎 (48) <平成29年4月> 博士(医学)	兼任 講師	岡 純一郎 (50) <平成29年4月> 博士(医学)
					異文化体験実習				異文化体験実習				異文化体験実習		異文化体験実習
				兼任 講師	湯澤 聡 (46) <平成29年4月> 博士(理学)			兼任 講師	湯澤 聡 (46) <平成29年4月> 博士(理学)			兼任 講師	湯澤 聡 (47) <平成29年4月> 博士(理学)	兼任 講師	湯澤 聡 (48) <平成29年4月> 博士(理学)
					生物学				生物学				生物学 関連職種連携ワーク		
				兼任 講師	福田 朋章 (42) <平成29年4月> 博士(学術)										
					日本語Ⅱ-A(作文) 日本語Ⅱ-B(文法・語彙)										
				兼任 講師	品川 なぎさ (40) <平成29年4月> 修士(文学)										
					日本語Ⅰ-A(作文) 日本語Ⅰ-B(文法・語彙) 日本語Ⅱ-C(発表討論)										
				兼任 講師	近藤 邦 (57) <平成30年4月> 修士(自然科学)			兼任 講師	近藤 邦 (57) <平成30年4月> 修士(自然科学)			兼任 講師	近藤 邦 (58) <平成30年4月> 修士(自然科学)	兼任 講師	近藤 邦 (58) <平成30年4月> 修士(自然科学)
					国際医療福祉論				国際医療福祉論				国際医療福祉論		国際医療福祉論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
								石橋 英直 (54) <平成30年4月> 修士(作業療法学)		石橋 英直 (55) <平成30年4月> 修士(作業療法学)
								国際医療福祉論		国際医療福祉論
								韓 憲受 (53) <平成30年4月> 博士(保健医療学)		韓 憲受 (54) <平成30年4月> 博士(保健医療学)
								国際医療福祉論		国際医療福祉論
								岩崎 淳也 (45) <平成28年4月> 修士(文学)		岩崎 淳也 (46) <平成28年4月> 修士(文学)
								関連職種連携ワーク		海外保健福祉事情Ⅰ(講義)
								吉岡 広陽 (43) <平成30年4月> 博士(生命科学)		吉岡 広陽 (44) <平成30年4月> 博士(生命科学)
								からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)		からだの探求Ⅰ(からだの構造と機能)
								小野 和美 (42) <平成28年4月> 博士(保健医療学)		
								関連職種連携ワーク		
								MoLaughlin Matthew James (40) <平成30年4月> 修士(日英翻訳通訳) 修士(英語教授法)		
								英語B-1(視聴覚英語基礎) 英語B-2(視聴覚英語応用)		
								町田 和 (38) <平成28年4月> 博士(保健医療学)		町田 和 (40) <平成28年4月> 博士(保健医療学)
								国際医療福祉論 災害保健学		国際医療福祉論 災害保健学
								平野 大輔 (36) <平成28年4月> 博士(保健医療学)		平野 大輔 (37) <平成28年4月> 博士(保健医療学)
								関連職種連携ワーク		関連職種連携ワーク 関連職種連携論
								河野 健一 (35) <平成28年4月> 博士(Info/IT/IT/IT科学)		河野 健一 (36) <平成28年4月> 博士(Info/IT/IT/IT科学)
								関連職種連携ワーク		関連職種連携ワーク
								志村 圭太 (35) <平成28年4月> 修士(理学療法学)		志村 圭太 (36) <平成28年4月> 修士(理学療法学)
								海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習)		海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 健康科学実論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
				兼任 助教		大石 美子 (34) <平成29年4月> 博士(保健医療学)		兼任 助教		大石 美子 (35) <平成29年4月> 博士(保健医療学)	
						異文化体験実習					異進職種連携ワーク
				兼任 助教		中村 杜大 (33) <平成29年4月> 博士(保健医療学)					
						健康科学実践					
				兼任 助教		山元 一男 (32) <平成29年4月> 博士(言語学)		兼任 助教		山元 一男 (34) <平成29年4月> 博士(言語学)	
						日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙)					日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(文法・語彙) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-A(作文) 日本語Ⅲ-B(専門日本語)
				兼任 助教		竹内 真太 (31) <平成29年4月> 博士(応用ナノテクノロジー科学)		兼任 助教		竹内 真太 (32) <平成29年4月> 博士(応用ナノテクノロジー科学)	
						レクリエーション概論					レクリエーション概論
				兼任 助教		湯 龍一 (29) <平成29年4月> 博士(保健学)					
						異文化体験実習					
				兼任 助教		鈴木 知子 (57) <平成30年4月> 博士(薬学)		兼任 助教		鈴木 知子 (58) <平成30年4月> 博士(薬学)	
						公衆衛生学					公衆衛生学
				兼任 助教		石井 清志 (37) <平成28年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)		兼任 助教		石井 清志 (38) <平成28年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)	
						海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 災害保健学 予防保健学					海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 災害保健学 福祉支援工学概論
				兼任 助教		鈴木 倫 (37) <平成28年4月> 博士(保健医療学)					
						異進職種連携ワーク					
				兼任 助教		田中 紗和子 (34) <平成29年4月> 修士(社会科学) 修士(栄養学)					
						海外保健福祉事情Ⅰ(講義) 海外保健福祉事情Ⅱ(実習) 福祉支援工学概論					
				兼任 助教		小宅 一彰 (33) <平成29年4月> 博士(保健学?)					
						福祉支援工学概論 異進職種連携ワーク					

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名			担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名			担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
					兼任	助教	佐々木 香織里 (34) <平成28年4月> 修士(保健医療学)			兼任	助教	佐々木 香織里 (34) <平成28年4月> 修士(保健医療学)		
							海外保健福祉事情 I (講義) 海外保健福祉事情 II (実習)					海外保健福祉事情 I (講義) 海外保健福祉事情 II (実習) 異文化体験実習		
					兼任	助教	山口 将希 (31) <平成28年4月> 修士(人間健康科学)			兼任	助教	山口 将希 (32) <平成28年4月> 修士(人間健康科学)		
							異文化体験実習					異文化体験実習 関連職種連携ワーク 慢性期看護学 II (演習)		
					兼任	助教	塚原 恵 (28) <平成28年4月> 修士(保健医療学)							
							異文化体験実習							
					兼任	助教	本村 あゆみ (40) <平成31年4月> 博士(医学)			兼任	助教	本村 あゆみ (40) <平成31年4月> 博士(医学)		
							関連職種連携ワーク					関連職種連携ワーク		
					兼任	助教	中山 和伸 (34) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)			兼任	助教	中山 和伸 (34) <平成31年4月> 修士(臨床心理学)		
							社会福祉学					社会福祉学		
					兼任	助教	田村 晴大 (32) <平成31年4月> 博士(医学)			兼任	助教	田村 晴大 (32) <平成31年4月> 博士(医学)		
							海外保健福祉事情 I (講義) 健康科学英語					海外保健福祉事情 I (講義) 健康科学英語		
					兼任	助教	松尾 英恵 (35) <平成31年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)			兼任	助教	松尾 英恵 (35) <平成31年4月> 修士(異文化コミュニケーション学)		
							海外保健福祉事情 I (講義)					海外保健福祉事情 I (講義)		
					兼任	助教	橋本 優佑 (28) <平成31年4月> 修士(臨床検査学)			兼任	助教	橋本 優佑 (28) <平成31年4月> 修士(臨床検査学)		
							海外保健福祉事情 I (講義)					海外保健福祉事情 I (講義)		
					兼任	助教	Choomplang Nattadeoh (33) <平成31年4月> 博士(医療福祉経営学)			兼任	助教	Choomplang Nattadeoh (33) <平成31年4月> 博士(医療福祉経営学)		
							タイ語入門(言語会心) タイ語応用(言語会心) 関連職種連携ワーク					タイ語入門(言語会心) タイ語応用(言語会心) 関連職種連携ワーク		
					兼任	助教	藤部 雄輝 (30) <平成31年4月> 博士(心理学)			兼任	助教	藤部 雄輝 (30) <平成31年4月> 博士(心理学)		
							コミュニケーション概論					コミュニケーション概論		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	青木 清 (78) <平成28年4月>									
		生命倫理									
兼任	講師	海老原 邦雄 (63) <平成28年4月>									
		防災と生活デザイン									
兼任	講師	大野 敏明 (64) <平成28年4月>									
		アジア諸国の経済・社会・文化 国際関係論									
兼任	講師	大場 建治 (84) <平成28年4月>									
		文学									
兼任	講師	岡野 賢二 (49) <平成28年4月> 修士(言語学)	兼任	講師	岡野 賢二 (49) <平成28年4月> 修士(言語学)	兼任	講師	岡野 賢二 (50) <平成28年4月> 修士(言語学)			
		ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)			ビルマ語入門(会話含む) ビルマ語応用(会話含む)			ビルマ語入門(会話含む)			
兼任	講師	押小路 忠昭 (55) <平成28年4月>									
		社会学(人間と社会)									
兼任	講師	小森 亜紀子 (57) <平成29年4月>	兼任	講師	小森 亜紀子 (57) <平成29年4月>						
		ソーシャルインクルージョン			ソーシャルインクルージョン						
兼任	講師	佐藤 里野 (35) <平成28年4月>									
		演劇論									
兼任	講師	清水 英里 (44) <平成28年4月> 修士(学術)	兼任	講師	清水 英里 (44) <平成28年4月> 修士(学術)						
		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)			ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)						
兼任	講師	須藤 正彦 (72) <平成28年4月>									
		法学 法と道徳・倫理									
兼任	講師	Sunisa Wittayapanyanon (46) <平成28年4月>	兼任	講師	Sunisa Wittayapanyanon (46) <平成28年4月>	兼任	講師	Sunisa Wittayapanyanon (47) <平成28年4月>	兼任	講師	Sunisa Wittayapanyanon (48) <平成28年4月>
		タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)			タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)			タイ語入門(会話含む) タイ語応用(会話含む)			
兼任	講師	高山 昇 (52) <平成28年4月>	兼任	講師	高山 昇 (52) <平成28年4月>	兼任	講師	高山 昇 (53) <平成28年4月>	兼任	講師	高山 昇 (54) <平成28年4月>
		パフォーマンス表現論			パフォーマンス表現論			パフォーマンス表現論	兼任	講師	高山 昇 (55) <平成28年4月>
		パフォーマンス表現論			パフォーマンス表現論			パフォーマンス表現論			
兼任	講師	竹橋 洋毅 (38) <平成28年4月>									
		行動科学とモチベーション									
兼任	講師	谷 千春 (55) <平成28年4月>	兼任	講師	谷 千春 (55) <平成28年4月>	兼任	講師	谷 千春 (56) <平成28年4月>	兼任	講師	谷 千春 (57) <平成28年4月>
		手話入門			手話入門			手話入門	兼任	講師	谷 千春 (58) <平成28年4月>
		手話入門			手話入門			手話入門			
兼任	講師	谷口 諭 (30) <平成28年4月>	兼任	講師	谷口 諭 (30) <平成28年4月>						
		問題解決とアイデアイノベーション 健康社会デザインI(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインII(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインIII(コミュニティ・プロデュース) 看護情報リテラシー ヘルスケア・インフォマティクス			問題解決とアイデアイノベーション 健康社会デザインI(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインII(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインIII(コミュニティ・プロデュース) 看護情報リテラシー ヘルスケア・インフォマティクス						
		問題解決とアイデアイノベーション 健康社会デザインI(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインII(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインIII(コミュニティ・プロデュース) 看護情報リテラシー ヘルスケア・インフォマティクス			問題解決とアイデアイノベーション 健康社会デザインI(コミュニティ・デザインの基礎) 健康社会デザインII(コミュニティ・アセスメント) 健康社会デザインIII(コミュニティ・プロデュース) 看護情報リテラシー ヘルスケア・インフォマティクス						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	時田 正樹 (64) <平成28年4月>									
		郷土論									
兼任	講師	戸松 義晴 (62) <平成28年4月> 修士(浄土学) 修士(神学)									
		死生学-死を通して生を考える 宗教学									
兼任	講師	Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27) <平成28年4月> 修士(東アジア学) ライプツ ヒ大学、ドイツ		兼任	講師	Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim (27) <平成28年4月> 修士(東アジア学) ライプツ ヒ大学、ドイツ					
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)				ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)					
兼任	講師	榎本 ひかる (48) <平成28年4月>		兼任	講師	榎本 ひかる (48) <平成28年4月>					
		プレゼンテーション技法				プレゼンテーション技法					
兼任	講師	別府 美知子 (55) <平成28年4月>		兼任	講師	別府 美知子 (55) <平成28年4月>				兼任	講師
		メディカルマナー入門				メディカルマナー入門					
兼任	講師	村口 和孝 (56) <平成28年4月>		兼任	講師	村口 和孝 (58) <平成28年4月>				兼任	講師
		経営の仕組み				経営の仕組み					
兼任	講師	山田 ズーニー (54) <平成28年4月>		兼任	講師	山田 ズーニー (54) <平成28年4月>				兼任	講師
		読む技術・伝える技術				読む技術・伝える技術					
兼任	講師	ヤマト マチ 山本 正樹 (53) <平成28年4月>		兼任	講師	ヤマト マチ 山本 正樹 (53) <平成28年4月>				兼任	講師
		キャリアデザインⅠ(基礎) キャリアデザインⅡ(発展)				キャリアデザインⅠ(基礎) キャリアデザインⅡ(発展)					
			兼任	講師	榎 秀樹 (75) <平成28年4月>	兼任	講師	榎 秀樹 (76) <平成28年4月>	兼任	講師	榎 秀樹 (77) <平成28年4月>
					防災と生活デザイン			防災と生活デザイン			防災と生活デザイン
			兼任	講師	濱田 敏彰 (82) <平成28年9月>	兼任	講師	濱田 敏彰 (82) <平成28年9月>			
					経済の歴史 世界の経済			経済の歴史 世界の経済			
			兼任	講師	師岡ピピアルーズ (59) <平成28年4月>	兼任	講師	師岡ピピアルーズ (60) <平成28年4月>	兼任	講師	師岡ピピアルーズ (61) <平成28年4月>
		上級英語会話1(発展) 上級英語会話2(総合) 英語ライティング1 (Primary) 英語ライティング2 (Basic) 英語C-1(英会話初級) 英語C-2(英会話中級) 上級英語文法講義			英語ライティング1 (Primary) 英語ライティング2 (Basic) 英語C-1(英会話初級) 英語C-2(英会話中級) 上級英語文法講義						
			兼任	講師	町田 明広 (54) <平成28年4月>	兼任	講師	町田 明広 (55) <平成28年4月>	兼任	講師	町田 明広 (56) <平成28年4月>
		歴史学			歴史学			歴史学			
			兼任	講師	秋原 北風 (54) <平成28年4月>	兼任	講師	秋原 北風 (53) <平成28年4月>	兼任	講師	秋原 北風 (54) <平成28年4月>
		文学論 演劇論			文学論 演劇論			文学論 演劇論			
			兼任	講師	伊東 進也 (52) <平成28年4月>	兼任	講師	伊東 進也 (53) <平成28年4月>	兼任	講師	
		法学 法と道徳・倫理			法学 法と道徳・倫理						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
		Silvia Antonia (52) <平成28年4月> 修士(コミュニケーション教育)	兼任 講師	Silvia Antonia (52) <平成28年4月> 修士(コミュニケーション教育)						
		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)		スペイン語入門(会話含む) スペイン語応用(会話含む)
		張 佳軍 (50) <平成28年4月>	兼任 講師	張 佳軍 (50) <平成28年4月>						
		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)		中国語入門(会話含む) 中国語応用(会話含む)
		磯 友理子 (41) <平成28年4月>	兼任 講師	磯 友理子 (41) <平成28年4月>						
		行動科学とモチベーション		行動科学とモチベーション		行動科学とモチベーション		行動科学とモチベーション		行動科学とモチベーション
		崔 健姫 (38) <平成28年4月> 博士(社会学)	兼任 講師	崔 健姫 (38) <平成28年4月> 博士(社会学)						
		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)		韓国語入門(会話含む) 韓国語応用(会話含む)
		矢口 大雄 (31) <平成28年4月> 博士(臨床心理学)	兼任 講師	矢口 大雄 (31) <平成28年4月> 博士(臨床心理学)						
		心理学		心理学		心理学		心理学		心理学
				Vivek Paul Pinto (65) <平成29年4月>	兼任 講師	Vivek Paul Pinto (65) <平成29年4月>	兼任 講師	Vivek Paul Pinto (65) <平成29年4月>	兼任 講師	Vivek Paul Pinto (65) <平成29年4月>
		英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 英語A-3(聴読中級1) 英語A-4(聴読中級2)		英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 英語A-3(聴読中級1) 英語A-4(聴読中級2)		英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 英語A-3(聴読中級1) 英語A-4(聴読中級2)		英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 英語A-3(聴読中級1) 英語A-4(聴読中級2)		英語A-1(聴読基礎) 英語A-2(聴読応用) 英語A-3(聴読中級1) 英語A-4(聴読中級2)
		江原 由美 (56) <平成29年4月>	兼任 講師	江原 由美 (56) <平成29年4月>						
		医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 医療福祉専門語彙		医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 医療福祉専門語彙		医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 医療福祉専門語彙		医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 医療福祉専門語彙		医療福祉専門漢字 医療福祉専門語彙 医療福祉専門語彙
		大塚 幸子 (46) <平成29年9月>	兼任 講師	大塚 幸子 (46) <平成29年9月>						
		ビルマ語応用(会話含む)		ビルマ語応用(会話含む)		ビルマ語応用(会話含む)		ビルマ語応用(会話含む)		ビルマ語応用(会話含む)
		小川 有子 (46) <平成29年4月>	兼任 講師	小川 有子 (46) <平成29年4月>						
		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)		ベトナム語入門(会話含む) ベトナム語応用(会話含む)
		東風谷 太一 (38) <平成29年4月>	兼任 講師	東風谷 太一 (38) <平成29年4月>						
		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)		ドイツ語入門(会話含む) ドイツ語応用(会話含む)
		Christopher Thompson Litten (33) <平成29年4月>	兼任 講師	Christopher Thompson Litten (33) <平成29年4月>						
		英語A-2(聴読応用)		英語A-2(聴読応用)		英語A-2(聴読応用)		英語A-2(聴読応用)		英語A-2(聴読応用)
		藤塚 将 (32) <平成29年4月> 修士(教育学)	兼任 講師	藤塚 将 (32) <平成29年4月> 修士(教育学)						
		雑談と傾聴～話す力と聴く力～		雑談と傾聴～話す力と聴く力～		雑談と傾聴～話す力と聴く力～		雑談と傾聴～話す力と聴く力～		雑談と傾聴～話す力と聴く力～

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	
		担当授業科目名		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
										Erio Austin Duokworth (56) <平成30年4月>	
					兼任	講師	英語A-3 (講義中級1) 英語A-4 (講義中級2) 上級英語文法講義 上級英語会話1 (聴解) 上級英語会話2 (総合)		兼任	講師	英語A-3 (講義中級1) 英語A-4 (講義中級2) 上級英語文法講義 上級英語会話1 (聴解) 上級英語会話2 (総合) 英語B-1 (視聴覚英語基礎) 英語B-2 (視聴覚英語応用)
										中村 友一 (40) <平成30年4月>	
					兼任	講師	心理学 臨床心理学概論				
										李 宣定 (38) <平成30年4月>	
					兼任	講師	韓国語入門 (会話含む) 韓国語応用 (会話含む)		兼任	講師	韓国語入門 (会話含む) 韓国語応用 (会話含む)
										佐々木 翠穂 (42) <平成30年9月>	
					兼任	講師	人間と栄養				
										菅原 洋子 (68) <平成30年4月> 博士(保健医療学)	
					兼任	教授	国際医療福祉論				
										石川 薫 (42) <平成31年4月>	
					兼任	講師	中国語入門 (会話含む) 中国語応用 (会話含む)				
										北原 智子 (54) <平成30年4月>	
					兼任	助手	ライフステージ発達援助実 験II (小児) 小児ケア実験				
										藤本 さおり (48) <平成30年4月>	
					兼任	助手	在宅看護実験		兼任	助手	在宅看護実験
										土屋 ともえ (44) <平成30年4月>	
					兼任	助手	ベーシックケア実験I (入 門) ベーシックケア実験II (基 礎)		兼任	助手	ベーシックケア実験II (基 礎)
										西園地 由美 (44) <平成30年4月>	
					兼任	助手	急性期ケア実験				
										星野 久美 (44) <平成30年4月>	
					兼任	助手	在宅看護実験		兼任	助手	在宅看護実験 看護統合実験 終末期ケア実験
										三浦 純代 (44) <平成30年4月>	
					兼任	助手	ベーシックケア実験I (入 門) ベーシックケア実験II (基 礎)		兼任	助手	ベーシックケア実験I (入 門)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等								
		担当授業科目名								
								川村 智恵子 (37) <平成30年4月>		川村 智恵子 (38) <平成30年4月>
								ベシックケア実践Ⅰ(入門) ベシックケア実践Ⅱ(基礎)		ベシックケア実践Ⅰ(入門) ベシックケア実践Ⅱ(基礎)
								徳永 直梨香 (33) <平成30年4月>		徳永 直梨香 (34) <平成30年4月>
								ベシックケア実践Ⅰ(入門) ベシックケア実践Ⅱ(基礎)		ベシックケア実践Ⅰ(入門) ベシックケア実践Ⅱ(基礎)
										長谷 直紀子 (33) <平成31年4月>
										ベシックケア実践Ⅱ(基礎) 在宅看護実践 終末期ケア実践
										神谷 浩子 (54) <平成31年4月>
										ライフステージと発達援助 実践Ⅲ(成人・老年) 老年ケア実践
										具志堅 真弓 (51) <平成31年4月>
										慢性期ケア実践
										濱館 陽子 (34) <平成31年4月>
										急性期ケア実践
										渡辺 美子 (45) <平成31年4月>
										急性期ケア実践 終末期ケア実践
										市川 淳子 (47) <平成31年4月>
										慢性期ケア実践
										山本 みゆき () <平成31年4月>
										ライフステージと発達援助 実践Ⅲ(成人・老年)
										根淵 麻美 () <平成31年4月>
										在宅看護実践 終末期ケア実践
										高橋 はる (47) <平成31年4月>
										精神ケア実践
										五十嵐 由紀 (33) <平成31年4月>
										ベシックケア実践Ⅱ(基礎)

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**属可時又は属出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- 平成28年4月、松田真由美講師就任。
- 平成28年4月、葛城建史教授就任。
- 平成28年4月、石川碧助教就任。
- 成田キャンパス所属の兼担稲垣誠一教授就任に伴い、兼担縣教授より担当変更。
- 兼担天野隆弘教授の就任辞退により、兼担黒澤和生教授に担当変更。
- 兼担菊池哲郎教授の就任辞退により、兼担堀岡健一教授、佐藤禎一教授、兼任濱田敏彰講師に担当変更。
- 兼担堀田聡子教授の就任辞退により、兼担井上善行准教授に担当変更。
- 兼担丸丸一成教授の就任辞退により、兼担金野充博教授、川上和久教授に担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担田中泰郎准教授、佐藤寛子講師、Cosmin Florescu講師、兼任師岡ヒビアンルーズ講師の就任に伴い、兼担宮崎路子教授より担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担西田裕介教授の就任に伴い、兼担金子純一郎准教授より担当変更。
- 兼担金子松五准教授の就任辞退により、兼担門脇弘子教授に担当変更。
- 兼担陳露秀准教授の就任辞退により、兼任張佳惠講師に担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担清宮正徳准教授の就任に伴い、兼担井尻総一郎講師より担当変更。
- 兼担磯野真穂講師の就任辞退により、兼担加藤尚子教授に担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担稲垣誠一教授、宮嶋宏行教授の就任に伴い、兼担江田哲也講師より担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担宮嶋宏行教授の就任に伴い、兼担岡村直利講師より担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担茅野正雄講師、小川美香講師の就任に伴い、兼担木村亮子助教、櫻井留美助教より担当変更。
- 成田キャンパス所属の兼担山口良孝講師の就任に伴い、兼担鈴木純子講師より担当変更。
- 兼担大塚尚講師の就任辞退により、兼任矢口大雄講師に担当変更。
- 平成28年4月、兼担鹿島晴雄教授就任、兼担小山田静江教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担金野充博教授就任、兼担丸丸一成教授、武藤正樹教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担川上和久教授就任、兼担丸丸一成教授、兼任押小路志昭講師、時田正樹講師より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担高須賀茂文教授就任、兼任大野敏明講師より担当変更。
- 平成28年4月、兼担長沢光章教授就任、兼担小堀浩幸教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担工藤芳子准教授就任、兼担小堀浩幸教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担羽田明浩准教授就任、兼担武藤正樹教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担小川俊夫准教授就任、兼担北村義浩教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担林真理子講師就任。
- 平成28年4月、兼担木村明佐子講師就任、兼担小堀浩幸教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担池田勝秀講師就任、兼担小堀浩幸教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担中村美緒講師就任、兼担山本澄子教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担山川誠司助教就任、兼担亀口憲治教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担河野希弥助教就任、兼担小堀浩幸教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼担赤堀ゆきこ助教就任、兼担小堀浩幸教授より一部担当変更。
- 兼任青木清講師の就任辞退により、樽井正義教授に担当変更。
- 兼任Silvia Antonia講師の就任に伴い、小川正子教授より一部変更。
- 兼任海老原邦雄講師の就任辞退により、兼任梶秀樹講師に担当変更。
- 兼任大場健治講師の就任辞退により、兼任秋原北胤講師に担当変更。
- 兼任佐藤里野講師の就任辞退により、兼任秋原北胤講師に担当変更。
- 兼任須藤正彦講師の就任辞退により、兼任伊東達也講師に担当変更。
- 兼任竹橋洋毅講師の就任辞退により、兼任磯友輝子講師に担当変更。
- 平成28年4月、兼任町田明弘講師就任、兼担福井謙准教授より一部担当変更。
- 平成28年4月、兼任崔誠姫講師就任、兼担福井謙准教授より一部担当変更。

【平成29年度】

- グループ内人事異動のため、清水信輔講師辞任、後任として標美奈子教授、柳生文宏准教授が就任。
- 富田亜沙子助教辞任、担当予定科目は他の専任教員にて分担。
- 平成29年4月、標美奈子教授就任。
- 平成29年4月、岡田佳詠教授就任。
- 平成29年4月、望月聡一郎教授就任。
- 平成29年4月、柳生文宏准教授就任。
- 平成29年4月、高山裕子講師就任。
- 兼担佐藤敦久教授就任に伴い、担当予定科目は専任教員にて分担。
- 兼担林琢磨教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- 兼担丸山仁司教授より兼担谷口敬道教授に担当変更。
- 兼担桃井真理子教授辞任、兼担城間将江教授に担当変更。
- 兼担井上善行准教授辞任、兼担林和美准教授、吉田浩滋准教授に担当変更。
- 兼担小山田静江教授辞任、兼担原富英教授に担当変更。
- 兼担齊藤恵一准教授辞任、兼担宮嶋宏行教授に担当変更。
- 兼担齊藤智恵講師辞任、兼任師岡ヒビアンルーズ講師に担当変更。
- 兼担高須賀茂文教授より兼担村上大介教授に担当変更。
- 兼担品川なごみ講師、福田朋章講師、加藤林太郎助教、山元一晃助教、兼任江頭由美講師就任、兼担小川美香講師から担当変更。
- 兼担Cosmin Florescu講師辞任、担当予定科目は他の兼任教員および兼任講師で分担。
- 平成29年4月、兼担松谷有希准教授就任。
- 平成29年4月、兼担北村聖教授就任。
- 平成29年4月、兼担村上大介教授就任。
- 平成29年4月、兼担小林雅彦教授就任。
- 平成29年4月、兼担谷口敬道教授就任。
- 平成29年4月、兼担梅宮敏文准教授就任。
- 平成29年4月、兼担吉田浩滋准教授就任。
- 平成29年4月、兼担林和美准教授就任。
- 平成29年4月、兼担小野寺敦志准教授就任。
- 平成29年4月、兼担白井明美准教授就任。
- 平成29年4月、兼担波多野茂幸准教授就任。
- 平成29年4月、兼担堀田英樹准教授就任。
- 平成29年4月、兼担小畑秀吾准教授就任。
- 平成29年4月、兼担押味貴之准教授就任。
- 平成29年4月、兼担志賀隆准教授就任。
- 平成29年4月、兼担園純一郎講師就任。
- 平成29年4月、兼担湯澤聡講師就任。
- 平成29年4月、兼担櫻井陽子助教就任。
- 平成29年4月、兼担大石妻子助教就任。
- 平成29年4月、兼担中村社大助教就任。
- 平成29年4月、兼担竹内真太郎就任。
- 平成29年4月、兼担澤龍一助教就任。
- 兼任小森亜紀子講師辞任、担当予定科目は他の専任および兼任教員にて分担。
- 兼任清水英里講師辞任、後任として兼任小川有子講師就任。
- 兼任谷口論講師辞任、担当予定科目は専任教員にて分担。
- 兼任Bauer-Lars Frank Wilhelm Achim講師辞任、後任として兼任東風谷太一講師着任。
- 兼任樋菜ひかる講師辞任、担当予定科目は専任教員にて分担。
- 平成29年4月、兼任Vivek Paul Pinto講師就任。
- 平成29年9月、兼任大澤幸子講師就任、兼任岡野賢二講師より一部担当変更。
- 平成29年4月、兼任Christopher Thompson Litten講師就任。
- 平成29年4月、兼任數垣将講師就任。

【平成30年度】

- ・山下香枝子学部長／教授辞任、後任として松谷美和子学部長／教授就任。
- ・小川正子教授辞任、後任は就任せず、担当予定科目は他の専任教員にて分担。
- ・木戸久美子教授辞任、後任として新道由記子准教授就任。
- ・久保美紀准教授辞任、後任として平野道枝講師就任。
- ・大原裕子准教授辞任、後任として吉岡留美講師就任。
- ・佐藤美奈子講師辞任、後任として高橋美恵助教就任。
- ・宮本圭講師辞任、後任として安田恵美子教授就任。
- ・石川碧助教辞任、後任は着任せず、担当予定科目は他の専任教員にて分担。
- ・柳生文宏准教授辞任、後任として細谷幸子教授就任。
- ・高山裕子講師辞任、後任として安田恵美子教授就任。
- ・平成30年4月、根本友子講師就任。
- ・平成30年4月、熊田奈津紀助教就任。
- ・兼任岩崎聡教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任川合陽子教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任河野寿夫教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任北村義浩教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任杉原素子教授辞任、担当予定科目は専任教員および他の兼任教員にて分担。
- ・兼任兼松祐佐教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任宮田哲郎教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任山本澄子教授辞任、担当予定科目は専任教員にて分担。
- ・兼任寺田佳孝講師辞任、後任として兼任鶴田利郎講師就任。
- ・兼任埴岡健一教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任吉田浩滋准教授辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任茅野正雄講師辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任福田朋章講師辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任品川なぎさ講師辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任中村社大助教辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・兼任澤龍一助教辞任、担当予定科目は他の兼任教員にて分担。
- ・平成30年4月、兼任菅原洋子教授就任。
- ・平成30年4月、兼任木村伊量教授就任。
- ・平成30年4月、兼任西木雅行教授就任。
- ・平成30年4月、兼任安立多恵子教授就任。
- ・平成30年4月、兼任江本精教授就任。
- ・平成30年4月、兼任倉智雅子教授就任。
- ・平成30年4月、兼任後藤純信教授就任。
- ・平成30年4月、兼任原田浩美教授就任。
- ・平成30年4月、兼任吉田素文教授就任。
- ・平成30年4月、兼任田中宏一教授就任。
- ・平成30年4月、兼任中尾睦弘教授就任。
- ・平成30年4月、兼任臺有桂教授就任。
- ・平成30年4月、兼任岡本英輝教授就任。
- ・平成30年4月、兼任森井和枝准教授就任。
- ・平成30年4月、兼任佐藤正一准教授就任。
- ・平成30年4月、兼任山口みどり准教授就任。
- ・平成30年4月、兼任新川寿子准教授就任。
- ・平成30年4月、兼任光山奈保子准教授就任、兼任濱田敏彰講師から担当変更。
- ・平成30年4月、兼任室井健三准教授就任。
- ・平成30年4月、兼任殿川誠司准教授就任、兼任伊東達也講師から担当変更。
- ・平成30年4月、兼任赤数昌史准教授就任。
- ・平成30年4月、兼任近藤邦講師就任。
- ・平成30年4月、兼任石橋英恵講師就任。
- ・平成30年4月、兼任韓憲受講師就任。
- ・平成30年4月、兼任根本友子講師就任。
- ・平成30年4月、兼任岩崎淳也講師就任。
- ・平成30年4月、兼任吉岡広陽講師就任。
- ・平成30年4月、兼任小野和美講師就任。
- ・平成30年4月、兼任McLaughlin Matthew James講師就任。
- ・平成30年4月、兼任町田和講師就任。
- ・平成30年4月、兼任平野大輔講師就任。
- ・平成30年4月、兼任河野健一講師就任。
- ・平成30年4月、兼任志村圭太講師就任。
- ・平成30年4月、兼任大星航講師就任。
- ・平成30年4月、兼任鈴木知子助教就任。
- ・平成30年4月、兼任高橋美恵助教就任。
- ・平成30年4月、兼任石井清志助教就任。
- ・平成30年4月、兼任鈴木倫助教就任。
- ・平成30年4月、兼任田中紗和子助教就任。
- ・平成30年4月、兼任佐々木香織里助教就任。
- ・平成30年4月、兼任山口将希助教就任。
- ・平成30年4月、兼任塚原恵助教就任。
- ・平成30年4月、兼任小宅一彰助教就任。
- ・兼任岡野賢二講師辞任、後任として兼任大澤幸子講師に担当変更。
- ・兼任磯友希子講師辞任、担当予定科目は専任教員で分担。
- ・兼任崔誠姫講師辞任、後任として兼任李亨定講師に担当変更。
- ・兼任Vivek Paul Pinto講師辞任、後任として兼任Eric Austin Duckworth講師に担当変更。
- ・兼任Christopher Thompson Litten辞任、担当予定科目は兼任教員で分担。
- ・兼任矢口大雄講師辞任、後任として兼任中村友一講師に担当変更。
- ・平成30年4月、兼任北尾智子実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任藤本さおり実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任土屋ともこ実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任西開地由実実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任星野久美実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任三池純代実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任川村智恵子実習助手就任。
- ・平成30年4月、兼任徳永恵梨実習助手就任。

【令和元年度】

- ・山内英樹准教授辞任、後任は就任せず、担当科目は他の専任教員にて分担。
- ・村田洋章准教授辞任、後任として濱元敦子准教授就任。
- ・平成31年4月、長澤ゆかり講師就任。
- ・平成31年4月、根本友見講師就任。
- ・平成31年4月、菱谷純子講師就任。
- ・浅川翔子助教辞任、後任として武田彩子助教就任。
- ・高橋美恵助教辞任、後任は就任せず、担当科目は他の専任教員にて分担。
- ・平成31年4月、福岡希実子助教就任。
- ・兼担小堀浩幸教授辞任、後任として兼担村瀬真一教授就任。
- ・兼担杉原素子教授辞任、担当科目は他の兼担教員にて分担。
- ・兼担門脇弘子教授辞任、後任として兼任佐々木菜穂講師就任。
- ・兼担北村聖教授辞任、担当科目は他の兼担教員にて分担。
- ・兼担小林雅彦教授辞任、後任として兼担三澤孝夫講師、兼担中山和幸助教就任。
- ・兼担菅原洋子教授辞任、担当科目は兼任として継続。
- ・平成31年4月、兼担竹内啓暁教授就任。
- ・平成31年4月、兼担池田啓子教授就任。
- ・平成31年4月、兼担池田俊也教授就任。
- ・平成31年4月、兼担内田信也教授就任。
- ・平成31年4月、兼担岡本秀彦教授就任。
- ・平成31年4月、兼担萩野美恵子教授就任。
- ・平成31年4月、兼担西村涉教授就任。
- ・平成31年4月、兼担矢島大介教授就任。
- ・平成31年4月、兼担矢野晴美就任。
- ・平成31年4月、兼担河村和弘教授就任。
- ・平成31年4月、兼担小堀修准教授就任、兼任中村友一講師より一部担当変更。
- ・平成31年4月、兼担菅野倫子准教授就任。
- ・平成31年4月、兼担石山寿子准教授就任。
- ・平成31年4月、兼担井上由利准教授就任。
- ・兼担宮森隆行講師辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担中村美緒講師辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担小野和美講師辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担McLaughlin Matthew James講師辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・平成31年4月、兼担五味幸寛講師就任。
- ・兼担河野弥季助教辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担鈴木倫助教辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担田中紗和子助教辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担小宅一彰助教辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・兼担塚原恵助教辞任、担当科目は他の兼担教員で分担。
- ・平成31年4月、兼担本村あゆみ助教就任。
- ・平成31年4月、兼担中山和幸助教就任。
- ・平成31年4月、兼担田村暁大助教就任。
- ・平成31年4月、兼担松尾英恵助教就任。
- ・平成31年4月、兼担橋本優祐助教就任。
- ・平成31年4月、兼担Choomplang Nattadech助教就任、兼任Sunisa Wittayapanyanonより担当変更。
- ・平成31年4月、兼担本村あゆみ助教就任。
- ・平成31年4月、兼担軽部雄輝助教就任、兼任中村友一講師より一部担当変更。
- ・兼任山田ズーニー講師辞任、担当科目は専任教員で分担。
- ・兼任山本正樹講師辞任、担当科目は専任教員で分担。
- ・兼任張佳惠講師辞任、後任として兼任石川薫講師に担当変更。
- ・兼任江頭由美講師辞任。
- ・兼任中村友一講師辞任、担当科目は他の兼担教員にて分担。
- ・兼任北尾智子実習助手辞任。
- ・平成31年4月、兼任長谷真紀子実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任狩谷浩子実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任具志堅真弓実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任濱館陽子実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任渡辺英子実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任市川淳子実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任山本みゆき実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任根廻麻実実習助手就任。
- ・平成31年4月、兼任高橋はる実習助手就任。
- ・平成31年5月、兼任五十嵐由紀実習助手就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
7	6	6	5	24	9	5	10	7	31
(7)	(4)	(5)	(4)	(20)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
9	5	10	7	31	9	5	10	7	31
[2]	[Δ1]	[4]	[2]	[7]	[2]	[Δ1]	[4]	[2]	[7]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	6 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{24} = \boxed{129.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{6}{31} = \boxed{19.35} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	清水 信輔	H29.3	必修	まちづくり看護論	①	グループ内の人事異動のための辞任 (29)
				選択	公衆衛生看護活動論Ⅰ(口行政保健)	①	
				選択	公衆衛生看護活動論Ⅱ(口学校・産業保健)	①	
				選択	公衆衛生看護学実践Ⅰ(口行政保健)	①	
				選択	公衆衛生看護学実践Ⅱ(口産業保健)	①	
				選択	プロジェクトⅠa(口入門)	①	
				選択	プロジェクトⅠb(口基礎)	①	
				選択	プロジェクトⅡa(口応用)	①	
				選択	プロジェクトⅡb(口展開)	①	
				選択	プロジェクトⅢ(口発展)	①	
2	助教	富田 亜沙子	H29.3	必修	急性期看護学Ⅱ(口演習)	①	自己都合による退職のための辞任 (29)
				必修	急性期ケア実践	①	
				選択	海外看護研修	①	
				選択	プロジェクトⅠa(口入門)	①	
				選択	プロジェクトⅠb(口基礎)	①	
				選択	プロジェクトⅡa(口応用)	①	
				選択	プロジェクトⅡb(口展開)	①	
				選択	プロジェクトⅢ(口発展)	①	
				必修	看護統合実践	①	
				必修	ベーシックケア実践Ⅰ(口入門)	①	
必修	ベーシックケア実践Ⅱ(口基礎)	①					
3	教授	山下 香枝子	H30.3	必修	大学入門講座Ⅰ(口基礎)	①	自己都合による退職のための辞任 (30)
				選択	大学入門講座Ⅱ(口展開)	①	
				必修	老年看護学Ⅰ(口講義)	①	
				必修	老年看護学Ⅱ(口演習)	①	
				必修	老年ケア実践	①	
				選択	プロジェクトⅠa(口入門)	①	
				選択	プロジェクトⅠb(口基礎)	①	
				選択	プロジェクトⅡa(口応用)	①	
				選択	プロジェクトⅡb(口展開)	①	
				選択	プロジェクトⅢ(口発展)	①	
必修	在宅・生活デザイン看護学Ⅰ(講義)	①					
必修	在宅・生活デザイン看護学Ⅱ(演習)	①					

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
4	教授	小川 正子	H30.3	必修	国際医療保健学	①	自己都合による退職のための辞任 (30)					
				必修	グローバルヘルスと母子保健	①						
				必修	国際看護学Ⅰ (異文化と看護)	①						
				選択	国際看護研修口途上国 (①						
				選択	プロジェクトⅠa口入門)	①						
				選択	プロジェクトⅠb口基礎)	①						
				選択	プロジェクトⅡa口応用)	①						
				選択	プロジェクトⅡb口展開)	①						
				選択	プロジェクトⅢ口発展)	①						
				必修	看護統合実践	①						
				選択	異文化体験実習	①						
				必修	健康社会デザインⅠ (コミュニティ・デザインの基礎)	①						
				選択	国際看護学Ⅱ (活動の実際)	①						
5	教授	木戸 久美子	H30.3	必修	ライフステージ発達援助論Ⅰ (母性)	①	自己都合による退職のための辞任 (30)					
				必修	性と生殖における健康と権利	①						
				選択	プロジェクトⅠa口入門)	①						
				選択	プロジェクトⅠb口基礎)	①						
				選択	プロジェクトⅡa口応用)	①						
				選択	プロジェクトⅡb口展開)	①						
				選択	プロジェクトⅢ口発展)	①						
				必修	看護統合実践	①						
				選択	問題解決とアイデアイノベーション	①						
				必修	大学入門講座Ⅰ (基礎)	①						
				選択	エビデンスベースドプラクティス (研究と実践)	①						
				必修	プレゼンテーション技法	①						
				6	准教授	久保 美紀		H30.3	必修	慢性期看護学Ⅱ (演習)	①	自己都合による退職のための辞任 (30)
必修	慢性期ケア実践	①										
選択	海外看護研修	①										
選択	プロジェクトⅠa (入門)	①										
選択	プロジェクトⅠb (基礎)	①										
選択	プロジェクトⅡa (応用)	①										
選択	プロジェクトⅡb (展開)	①										
選択	プロジェクトⅢ (発展)	①										
必修	看護統合実践	①										
必修	ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人)	①										
必修	ライフステージ発達援助実践Ⅲ (成人・老年)	①										
7	准教授	大原 裕子	H30.3				必修		慢性期看護学Ⅱ (演習)	①	自己都合による退職のための辞任 (30)	
							必修		慢性期ケア実践	①		
				選択	海外看護研修	①						
				選択	プロジェクトⅠa (入門)	①						
				選択	プロジェクトⅠb (基礎)	①						
				選択	プロジェクトⅡa (応用)	①						
				選択	プロジェクトⅡb (展開)	①						
				選択	プロジェクトⅢ (発展)	①						
				必修	看護統合実践	①						
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅲ (成人)	①						
				必修	ライフステージ発達援助実践Ⅲ (成人・老年)	①						
				8	准教授	佐藤 美奈子	H30.3	必修	ライフステージ発達援助論Ⅰ (母性)	①		自己都合による退職のための辞任 (30)
								必修	小児看護学Ⅱ (演習)	①		
必修	小児ケア実践	①										
選択	プロジェクトⅠa (入門)	①										
選択	プロジェクトⅠb (基礎)	①										
選択	プロジェクトⅡa (応用)	①										
選択	プロジェクトⅡb (展開)	①										
選択	プロジェクトⅢ (発展)	①										
必修	看護統合実践	①										
必修	ライフステージ発達援助論Ⅰ (母性)	①										

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
9	講師	宮本 圭	H30.3	必修	ライフステージ発達援助実践Ⅰ（母性）	①	自己都合による退職のための辞任（30）
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅱ（小児）	①	
				必修	ライフステージ発達援助実践Ⅱ（小児）	①	
				必修	小児看護学Ⅰ（講義）	①	
				必修	小児看護学Ⅱ（演習）	①	
				必修	小児ケア実践	①	
				選択	プロジェクトⅠa（入門）	①	
				選択	プロジェクトⅠb（基礎）	①	
				選択	プロジェクトⅡa（応用）	①	
				選択	プロジェクトⅡb（展開）	①	
				選択	プロジェクトⅢ（発展）	①	
				必修	看護統合実践	①	
必修	人間発達学	①					
10	助教	石川 碧	H30.3	必修	ベーシックケア実践Ⅰ（入門）	①	自己都合による退職のための辞任（30）
				必修	慢性期看護学Ⅱ（演習）	①	
				必修	慢性期ケア実践	①	
				選択	海外看護研修	①	
				選択	プロジェクトⅠa（入門）	①	
				選択	プロジェクトⅠb（基礎）	①	
				選択	プロジェクトⅡa（応用）	①	
				選択	プロジェクトⅡb（展開）	①	
				選択	プロジェクトⅢ（発展）	①	
				必修	看護統合実践	①	
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅲ（成人）	①	
				必修	ライフステージと発達援助実践Ⅲ（成人・老年）	①	
11	准教授	柳生 文宏	H30.3	必修	ライフステージと発達援助実践Ⅲ（成人・老年）	①	自己都合による退職のための辞任（30）
				必修	グローバルヘルスと母子保健	①	
				選択	健康教育とヘルスカウンセリング	①	
				必修	まちづくり看護論	①	
				選択	公衆衛生看護活動論Ⅰ（行政保健）	①	
				選択	公衆衛生看護活動論Ⅱ（学校・産業保健）	①	
				選択	公衆衛生看護学実践Ⅰ（行政保健）	①	
				選択	公衆衛生看護学実践Ⅱ（産業保健）	①	
				必修	地域ケアと家庭医療	①	
				必修	健康社会デザインⅠ（コミュニティ・デザインの基礎）	①	
				必修	プレゼンテーション技法	①	
				必修	公衆衛生学	①	
12	講師	高山 裕子	H30.3	必修	ベーシックケア実践Ⅱ（基礎）	①	自己都合による退職のための辞任（30）
				必修	人間発達学	①	
				必修	ライフステージ発達援助実践Ⅱ（小児）	①	
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅱ（小児）	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
13	准教授	山内 英樹	H31.3	必修	急性期看護学Ⅰ（講義）	①	H31.3 自己都合による退職のための辞任（元）
				必修	急性期看護学Ⅱ（演習）	①	
				必修	急性期ケア実践	①	
				選択	海外看護研修	①	
				選択	プロジェクトⅠa（入門）	①	
				選択	プロジェクトⅠb（基礎）	①	
				選択	プロジェクトⅡa（応用）	①	
				選択	プロジェクトⅡb（展開）	①	
				選択	プロジェクトⅢ（発展）	①	
				必修	看護統合実践	①	
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅲ（成人）	①	
				必修	関連職種連携ワーク	①	
				選択	先端医療とヘルスケアテクノロジー	①	
				選択	看護情報リテラシー	①	
14	准教授	村田 洋章	H31.3	選択	先端医療とヘルスケアテクノロジー	①	H31.3 自己都合による退職のための辞任（元）
				必修	急性期看護学Ⅱ（演習）	①	
				必修	急性期ケア実践	①	
				選択	海外看護研修	①	
				選択	プロジェクトⅠa（入門）	①	
				選択	プロジェクトⅠb（基礎）	①	
				選択	プロジェクトⅡa（応用）	①	
				選択	プロジェクトⅡb（展開）	①	
				選択	プロジェクトⅢ（発展）	①	
				必修	看護統合実践	①	
				必修	ベーシックケア実践Ⅱ（基礎）	①	
				必修	問題解決とアイデアノベーション	①	
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅲ（成人）	①	
				必修	ライフステージと発達援助実践Ⅲ（成人・老年）	①	
				必修	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	①	
				必修	プレゼンテーション技法	①	
				必修	疾病・治療Ⅰ（急性期・総論・運動・感覚器）	①	
				必修	疾病・治療Ⅱ（急性期・臓器別疾患）	①	
				必修	薬の作用と機序	②	
				必修	看護情報リテラシー	①	
必修	急性期看護学Ⅰ（講義）	①					
15	助教	浅川 翔子	H31.3	必修	急性期看護学Ⅱ（演習）	①	H31.3 自己都合による退職のための辞任（元）
				必修	急性期ケア実践	①	
				選択	海外看護研修	①	
				選択	プロジェクトⅠa（入門）	①	
				選択	プロジェクトⅠb（基礎）	①	
				選択	プロジェクトⅡa（応用）	①	
				選択	プロジェクトⅡb（展開）	①	
				選択	プロジェクトⅢ（発展）	①	
				必修	看護統合実践	①	
				必修	ライフステージと発達援助実践Ⅲ（成人・老年）	①	
				必修	ベーシックケア実践Ⅰ（入門）	①	
				必修	関連職種連携ワーク	①	
				選択	エビデンスベースドプラクティス（研究と文献）	①	
				必修	プレゼンテーション技法	①	
				選択	先端医療とヘルスケアテクノロジー	①	
				必修	看護情報リテラシー	①	
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅲ（成人）	①	
				必修	急性期看護学Ⅰ（講義）	①	

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
16	助教	高橋 美恵	H31.3	必修	大学入門講座Ⅰ（基礎）	①	H31.3 自己都合による退職のための辞任（元）						
				必修	ライフステージ発達援助論Ⅰ（母性）	①							
				必修	ライフステージ発達援助実践Ⅰ（母性）	①							
				選択	プロジェクトⅠa（入門）	①							
				選択	プロジェクトⅠb（基礎）	①							
				選択	プロジェクトⅡa（応用）	①							
				選択	プロジェクトⅡb（発展）	①							
合計（F）				後任補充状況の集計（G）									
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
16	人	必修	40	科目	必修	39	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	58	科目	計	57	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
16	人	必修	40	科目	必修	39	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	18	科目	選択	18	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	58	科目	計	57	科目	計	1	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{16}{24} = \boxed{66.66} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成30年度末にて計3名の専任教員が自己都合による辞任となった。平成31年度に新規の専任教員が6名着任しており、担当予定科目は全て着任済の学科専任教員および専門の兼任教員にて分担して対応することが決まっており、教育上の問題はない。辞任した教員については、年度開始時のオリエンテーションにて学生へと周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
<p>設 置 時</p> <p>(27年)</p>	<p>・実習助手の採用基準と決定方法、実習助手に対するFDIに関する記載がないため、これらが計画されていないのであれば、具体的な計画を定めること。(成田看護学部)</p>	<p>改善意見</p>	<p>実習助手の採用基準は、看護師免許を有し、大学を卒業後、3年以上当該専門領域の臨床経験を有する者とする。また専門学校および短期大学卒業で優れた臨床実践能力をもつ者については、5年以上臨床経験を有する場合に限り、実習助手として採用する。またリプロダクティブヘルス看護学領域（母性看護学）の実習助手については、上記の条件を満たし、看護師および助産師免許を有している者、まちづくり・公衆衛生看護学領域（公衆衛生看護学）の実習助手については、上記の条件を満たし、看護師および保健師免許を有している者とする。</p> <p>実習助手は、大学における実習指導を行った経験を有することが望ましいが、指導経験がない場合は、実習指導に関する基礎的な知識、技術について学内にて下記のような研修を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 教育目的、目標、実習の位置づけ、展開方法、学生のレディネスなどを説明する。 2) 実習助手として、学生を指導する目的、方法について 3) 学習への取り組みと動機付けについての指導者の役割 4) 実習の評価の目的と方法について <p>加えて担当する実習場所での実地研修を行い指導にあたることとする。なお、具体的な職務内容は、当該科目の担当教員の指導の下、グループを担当して学生の指導を行う。実習助手が行う実習指導の責任は、その指導を担う教員とする。(28)</p> <p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
<p>設 置 時</p> <p>(27年)</p>	<p>・大学設置基準第10条第1項では、主要な授業科目については原則として専任の教授又は准教授に担当させることを原則としているが、本学の教育課程を見ると、看護学の体系性や学科設置の趣旨から主要と思われる授業科目に専任の教授又は准教授が配置されていない例が散見される。そのため、以下の指摘を踏まえ、担当教員の充実に努めること。</p> <p>(成田看護学部)</p> <p>(1)「まちづくり・公衆衛生看護学」に関する5科目、「在宅・生活デザイン看護学」に関する6科目については、いずれも1名の講師・助教が担当することとなっている。設置の趣旨には、「高齢社会の到来に伴う医療やケアニーズの高まりに対応して、…地域・在宅における訪問看護、介護老人保健施設、老人福祉施設における看護師の需要が高まっている」とうたわれており、これらの科目は、人材養成の中核的な科目であると思われるが、担当教員は講師・助教であることから、設置の趣旨に即した十分な教育が行われるか懸念がある。そのため、中核的な科目については、担当教員の充実に努めること。</p> <p>(2)精神看護学及び公衆衛生看護学を担当する教授と准教授が不在である。これらは主要な看護専門科目であることから、専任の教授又は准教授を配置すること。</p> <p>(3)「こども・子育て看護学」の科目区分(5科目)については、准教授は配置されているものの、科目区分全体で教授が配置されていない。そのため、教授を配置しない体制で適切な教育が行えるか検討し、必要に応じて教授を配置するなど、教育体制のさらなる充実に努めることが望ましい。</p>	<p>(1) について 「まちづくり・公衆衛生看護学」を担当する教授の採用を決めており、2017年4月から着任予定。また准教授、講師、助教についても2017年4月の着任を目指して教員の選定を行っている。</p> <p>(2) について 「在宅・生活デザイン看護学」を担当する教授、准教授については2017年4月からの着任を目指して教員の選定を行っている。また、「精神看護学」を担当する教授、准教授についても2017年4月の着任を目指して教員の選定を行っている。</p> <p>(3) について 「こども・子育て看護学」を担当する教授、講師については、2017年4月の着任を目指して教員の選定を行っている。(28)</p>	<p>履行済</p>

改善意見

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今 後 の 実 施 計 画
設 置 時 (27年)	<ul style="list-style-type: none"> ・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。(言語聴覚学科、医学検査学科、成田看護学部) 	改善意見	今回の採用では、カリキュラム等の特性上、定年年齢の教員を採用した。今後、採用する教員については、学部の継続的な発展を踏まえ、原則、完成年度において退職年齢を超えることのない50歳代以下の教員を中心に選考を行っている。(28)	履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	<ul style="list-style-type: none"> ・「専門基礎科目」のうち、配当年次を複数年設定している科目があるが、早期(1、2年次)に修得すべき内容の科目や、順序性が担保できていない科目が見受けられる。また、既に配付されている履修モデルと授業科目の一覧の配当年次に不整合も見受けられる。科目の体系性を考慮した配当年次を設定するとともに、正しい履修モデルの提示や履修指導により、効果的な教育課程が履修できるよう工夫すること。(理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、成田看護学部) 	改善意見	科目の順序性が担保できるよう履修モデルおよび履修系統図の再検討を行い、年度開始時のオリエンテーションにおける履修モデル、履修系統図の提示や、配当年次が複数設定されている科目については履修推奨年次を設定するなど体系的な学修が可能となるよう履修指導を実施した(29) 設置時以降、一部科目の配当年次および開講学期の変更を行い、学修の順序性を整理した。 専門基礎科目においては、公衆衛生学(2年前期→1年前期)、感染と免疫(1~4年後期→1年後期)、保健医療福祉制度論(1~4年後期→1年前期)、医療情報学概論(1~4年後期→2~4年後期)、リスクマネジメント論(1~4年後期→2~4年前期)、電子カルテによるチーム医療概論(1~4年後期→2~4年後期)、エビデンスベースドプラクティス(研究と文献)(1~4年前期→2~4年前期)、国際医療保健学(1~4年後期→1年前期)、キャリアデザインI(基礎)(1~4年前期→1年後期)、人間と栄養(2年前期→1年後期)、人間発達学(1~4年前期→1年前期)の配当年次変更が行われた。 また、これに応じて履修モデル(別紙2)と履修系統図(別紙3)を整備し、学生への履修指導に活用している。(30)	履行済	

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	・担当科目が著しく多い専任教員がいることから、教員の専門性と科目内容の整合性に留意しつつ、負担が偏らないように適切な教員組織編制となるよう改善すること。また、オムニバス科目は各担当教員の専門性を踏まえた上で、各専門領域を十分に教授できるように検証し、充実することが望ましい。	改善意見	負荷軽減を考慮し、科目担当の再編成を実施した。オムニバス科目についても、各教員の専門性を考慮した分担を検討し、より充実した科目運営の実現を図った(29) 履行済	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	・保健師課程を履修できる学生の選抜方法や選抜基準が曖昧であり、必要な情報が適切に周知されていないため、学生に不利益が生じる可能性がある。選抜方法や前提科目の履修など要件を周知するとともに、適切な履修指導を行うこと。	改善意見	学生便覧中にある保健師課程の履修についての説明文章を再度見直し、学生が正確に情報を取得できるよう修正した。また、年度開示のオリエンテーションでも1年生、2年生それぞれに内容説明を実施し、履修指導とした。(29) 別紙A(学生便覧関連ページ)、別紙B(保健師履修コース募集要項)のとおりに、学生への選抜方法等を記載した資料を添付する。(元)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	・届出時においては、1年次の実習科目から実習助手を配置する計画が示されているが、調査時点においては、実習助手が配置されていない状況である。学年進行に応じて臨地実習の対象学生数や対象期間が増えることを踏まえ、実習助手の確保は重要となる。報告書に示された要件を満たした実習助手の確保を図るとともに、担当教員との連携やFDへの参加等により実習助手の能力向上に努め、当初計画に基づく実習指導体制を担保すること。	改善意見	平成29年度においては5月1日時点で既に1名の実習助手の採用が決定しており、同年度中にさらに追加で2~3名の実習助手を採用する計画を進めている。採用された実習助手に対しては、定期的の実習運営のための打合せを実施する他、看護学部にて実施する勉強会への参加を促すことで能力向上を図る。(29)	履行済

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	・成田看護学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	改善意見	設置申請以降、教授3名、准教授1名、講師1名、助教1名が新たに採用となっており、このうち教授1名を除く5名が完成年次に退職年齢を越えない構成となっている。学年進行に合わせ継続的に教員組織の拡充を図るとともに、学部内でのFD活動に若手教員の育成を推進する。(29)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (29年)	・専任教員の増員によって、実習助手の配置が見直されたことに伴い、開設3年目となる次年度から多くの実習助手が配置される計画となっている。このため、教育の質の低下を招かないよう実習助手に対するFD活動等を充実し、能力の向上に努めるとともに、提示された専任教員等の補充計画を確実に履行すること。(成田看護学部看護学科)	改善意見	平成30年度5月1日時点で8名の実習助手を採用済である。更に、5月8日時点で追加で1名、小児・成人・老年など複数の領域にまたがって対応可能な実習助手を採用し、その後も6名の採用を進行中である。実習助手については、採用基準を明確にし、質の高い実習助手を継続して確保できるよう努める。また、実習助手に対しては専用のFDプログラムを用意し、能力の向上と教育の質の担保を図っている。(別紙1【実習助手FDプログラム】) 専任教員についても、公募などにより引き続き組織拡充を図る。(30) 令和元年5月1日時点で、前年度からの継続も含め16名の実習助手が採用済となる。(元) 【実習助手FDプログラム】について、内容を一部見直し更新されたものを別紙Cとして提出する。(元)	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<成田看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 124単位 必修科目108単位、選択科目16単位</p> <p>② 施設・設備</p> <p>a 講義室4室 (715.80㎡) 成田看護学部専用</p> <p>b 自習室6室 (1,665.78㎡) 成田看護学部・成田保健医療学部共通</p> <p>c 図書 設置時6,400冊、完成時予定16,000冊 成田看護学部・成田保健医療学部共通</p>	<p>① 当初の予定から変更なし (28)</p> <p>② 当初の予定から変更なし (28)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

学則に基づき大学としてFD委員会を置き、成田キャンパスには「成田キャンパスFD委員会」を設置している。
(別紙4「国際医療福祉大学FD委員会規程」)

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成28年度は成田キャンパスのFD委員会を11回開催した。29年度以降は医学部、成田看護学部、成田保健医療学部の3学部合同で11人の委員によるFD委員会を各年度で11回開催した。
委員会は原則として月1回、毎月第1金曜日に開催される。

c 委員会の審議事項等

成田キャンパスFD委員会は、FD研修会の開催などによる教員の資質向上、授業アンケートの実施の審議および学科毎に行われているFD活動の情報共有などを行う。

② 実施状況

a 実施内容

①大学全体でのFD研修会 (年2回、9月、3月)

②成田キャンパスにおけるFD研修会 (年1回)

b 実施方法

①大学全体でのFD研修会 (年2回、9月、3月)

各キャンパスが持ち回りで担当。外部講師を招聘し、ポートフォリオ、IPEなどのテーマで講演会を実施。

②成田キャンパスにおけるFD研修会 (年1回)

年1回の開催に向け、FD委員会にて企画運営。

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

<2016年9月の実施テーマ>

高等教育における21世紀型スキルの育成について (小田原キャンパスの企画運営にて実施)

参加状況: 352 / 441 名 出席 (出席率 79.8 %)

<2017年3月の実施テーマ>

平成28年度 学生が選ぶグッドティーチング賞表彰式・報告会/各キャンパスFD活動報告会

参加状況: 337 / 436 名 出席 (出席率 77.3 %)

<2017年9月の実施テーマ>

協同学習に基づくアクティブラーニング (福岡キャンパスの企画運営にて実施)

参加状況: 339 / 476 名 出席 (出席率 71.2 %)

<2018年3月の実施テーマ>

平成29年度 学生が選ぶグッドティーチング賞表彰式・報告会/各キャンパスFD活動報告会

参加状況: 333 / 466 名 出席 (出席率 71.5 %)

<2018年9月の実施テーマ>

学生の不安心理の理解とその対応 (大川キャンパスの企画運営にて実施)

参加状況: 354 / 533 名 出席 (出席率 66.4 %)

<2019年3月の実施テーマ>

平成30年度 学生が選ぶグッドティーチング賞表彰式・報告会/各キャンパスFD活動報告会

参加状況: 386 / 561 名 出席 (出席率 68.81 %)

(次頁につづく)

(前頁につづく)

②成田キャンパスにおけるFD研修会（年1回）

<2016年度の実施テーマ>

2年次からスタートする関連職種連携教育の準備として、「国際医療福祉大学における関連職種連携教育（IPE）」テーマとして2017年2月に開催した。
本学の特色あるカリキュラムとなる関連職種連携教育について、各教員が理解を深める機会となった。

参加状況：成田キャンパスに着任済の教員計51名が参加

<2017年度の実施テーマ>

医学部と3学部合同のFD研修会とし、医学部英語教育のICT活用例を取り上げ「大学教育におけるアクティブ・ラーニング：ICTの活用」をテーマとして2018年2月に開催した。
実際に医学部で行われている英語教育同様、アクティブラーニングを取り入れ参加型の研修とし、教育へのICT活用について理解を深めた。

参加状況：成田キャンパスに着任済教員、3学部合計99名が参加

<2018年度の実施テーマ>

学修意欲に欠ける学生や、授業についてこれない、学修習慣が確立されていない学生のサポートを行うために、「学修意欲を高めるための教育方法」をテーマとして2019年2月に開催した。
2017年度の授業アンケートによる評価が高い授業を担当した教員が事例発表を行うとともにパネラーを務め、パネルディスカッション形式で実施され活発な意見交換がなされた。

参加状況：成田キャンパスに着任済の教員計92名が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

実施後にアンケート等から各教員へフィードバックを実施した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

大学全体の方針として、半期の場合は15回目、半期の半分の場合は8回目に授業アンケートを実施。
さらに、成田キャンパス独自の方針として、希望科目については半期で実施される科目の一部について中間アンケートを実施し、後半の授業運営改善の一助とした。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各教員へは集計結果をフィードバック。学生へはホームページ、学内システム上などで集計結果を公開している。

(注) ・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成28年4月に開設した成田看護学部及び成田保健医療学部は、千葉県をはじめ南関東地域の保健・医療・福祉に関する専門職の需要にこたえとともに、国際都市である成田の特徴を生かし、地域・国際社会でグローバルに活躍できる人材の育成を図るために、設置したものである。

1. 入学生確保

本年4月入学の第4期生の募集に当たっては、成田看護学部が入学定員100人に対し、1,027人の志願者(志願倍率10.27倍)が、また、成田保健医療学部が入学定員240人に対し、1,431人の志願者(志願倍率5.96倍)があり、過年度同様高い志願倍率を維持する結果となった。最終的には、成田看護学部で112人、成田保健医療学部で259人の入学者を迎えることができ、開学から引き続き順調な学生募集の実施と、優秀な人材の確保ができています。

留学生についても開学から継続して受け入れており、現在1年次から4年次までで成田看護学部で15名、成田保健医療学部で11名の合計26名が在籍している。

以上のことから、設置の趣旨に記した成田市、印旛保健医療圏および千葉県での看護師をはじめとする医療職需要への対応やグローバルに活躍できる人材の育成のための入学生確保は、達成できているものとする。

2. 地域貢献

開学初年度となる平成28年度から積極的に、本学教員による定期的な公開講座の実施や地元産業および自治体と連携した講義の実施、自治体主催イベントへの学生ボランティアの参加などを行い、地域貢献を果たすとともに本学の理念の一つでもある「社会に開かれた大学」の体現を行っている。

3. 関連職種連携教育

平成29年度には、成田看護学部、成田保健医療学部の2年次必修科目として「関連職種連携論」を開講、自職種のみならず他職種の特性を学ぶとともに、実際の臨床現場における職種間の関わりや症例に対する役割などを主に座学にて学修した。

平成30年度には、3年次必修の科目として「関連職種連携ワーク」をスタート、2年次に学修した「関連職種連携論」を下敷きに3年次の学生全員を学科横断的に複数のグループに分け、模擬症例に対し「チームとしてどうケアを行っているか」の演習を行っている。

さらに、本年度からは「関連職種連携ワーク」に医学部3年次学生が加わり、よりリアリティのある、実践的な関連職種連携教育を展開している。

また、本年度は選択科目として4年次学生を対象に「関連職種連携実習」を開講、実際の臨床施設にて多職種によるチームケアがどのように行われているのかを実習を通じて経験する。

4. 海外保健福祉事情

平成29年度から、成田キャンパス2年次約360名の学生が夏季、冬季に分かれ14の国・地域で10日前後の海外研修を実施、大きな事故等なく無事に帰国した。平成30年度についても同様で、対象国を更に増やし15の国、地域でそれぞれの医療事情や施設の見学、異文化との接触を通じ、将来的にグローバルに活躍する医療人材の基礎となる教育を実践することができた。

今後も継続して研修先の拡大検討と研修内容の充実を図っていく。

5. 学部間での連携

平成29年4月に隣接する敷地に医学部が開設されたことにより、より実際の臨床現場に近い環境での職種間連携教育の実践や教育施設の相互利用による教育効果の向上が可能となっている。

教育面では、前記のとおり3学部横断的にチーム学修を行う「関連職種連携ワーク」をはじめとする合同授業の実施や、FD活動を通じての教育情報の共有と教育の質向上の実現、学生・教職員向けの救命救急講習会(BLS)の実施などを、学生生活面では課外活動(部活動、サークル活動)の合同実施や留学生を含めた学生交流の推進など、学部学科を超えキャンパス一体となった学生指導、教育を展開している。

6. 今後の方針等

完成年度を迎え、これまでに設置時留意事項や昨年度の履行状況調査にて附された留意事項等、改善意見を踏まえた見直しを行い、大学運営の改善を行っているところである。今後も継続して改善を図り、学生に最適な学修環境の整備を進めていく。また、就職活動支援や国家試験対策などの学生支援のためのコンテンツ、環境の整備を推進していく。

(次頁につづく)

(前頁につづく)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

大学全体として平成29年度に、27～29年度を対象期間として3つのポリシー点検や国際交流のさらなる進展などをテーマに自己点検・評価を行った。報告書は5月中に公表する予定である。

・平成30年5月 公表

b 公表方法

大学ホームページを掲載するほか、関係する自治体・図書館・他大学などに報告書を配付し、本学への外部からの意見の収集に努める。

③ 認証評価を受ける計画

平成33年度に公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表(予定)時期 (令和元年 5月 末日)

c 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。